

1. 件名：「玄海原子力発電所3，4号炉及び川内原子力発電所1，2号炉の地震等に係る新基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（22）（22）」

2. 日時：令和5年8月22日（火） 10時10分～13時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部

執行役員 赤司副本部長 他9名

（このうち1名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

〈〈本年8月17日に受取済み〉〉

- ・玄海原子力発電所3号炉及び4号炉 日本海南西部の海域活断層の長期評価（第一版）の影響について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 日向灘及び南西諸島海溝周辺の地震活動の長期評価（第二版）の影響について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁地震津波審査部門の鈴木です。それでは時間になりましたので、玄海、川内のそれぞれの長期評価の影響について、
0:00:12	ヒアリングを始めたいと思います資料は、
0:00:14	8月17日付でそれぞれ玄海川内で使用出てきておりますので、
0:00:21	その通りでは、玄海の日本海南西部の説明で確認、次に仙台の比嘉田野説明で確認という流れで進めたいと思います。
0:00:32	ではまず玄海の長期評価について説明を願ひ
0:00:40	はい。九州電力の村上です。本日はよろしくお願ひします。
0:00:44	それでは資料番号TTの38に基づきまして、玄海原子力発電所への長期評価第一波の影響について、
0:00:52	前回ヒアリングからの変更点を中心にご説明させていただきます。
0:00:57	2ページをお願ひし
0:01:00	本日はこちらの目次に沿ってご説明いたします。目次の項目には、前回ヒアリングからの変更はございません。
0:01:08	3ページをお願ひします。
0:01:10	まず、長期評価の概要についてです。
0:01:13	4ページをお願ひします。
0:01:16	こちら、受振本部にて公表されております、整備区域の断層分布図でございまして、前回ヒアリングからの変更がござい
0:01:26	5ページをお願ひします。
0:01:28	こちらには、地震本部が引用しておりますデータの概要について記載し、
0:01:33	前回ヒアリングからの変更点としまして、⑦、断層情報総合評価プロジェクトが用いていると考えられるデータに関して一部追記を行う。
0:01:43	また、表下段になりますが、活断層の認定と
0:01:47	言う欄を追加しまして、地震本部における活断層の認定がどのようになされている。
0:01:53	1点記載を追加してございます。
0:01:56	6ページをお願ひします。
0:01:58	こちら、今回の長期評価に用いられている測線図になりますが、こちら前回ヒアリングからの変更はございません。
0:02:08	7ページをお願ひします。
0:02:10	こちらには、清和における文献による断層分布図に、今回の長期評価における断層分布を重ねたものを示してござい

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:19	前回ヒアリングでもお示しお示しているもので、内容の変更はありませんが、構成を見直しまして、長期評価の概要に含める形で資料を再構成してください
0:02:30	8 ページをお願いします。
0:02:32	こちらには、既許可時における断層分布図に、今回の長期評価における断層分布を重ねたものを示してございます。
0:02:40	こちらも前回ヒアリングでお示しておりますが、7 ページ同様に、資料、
0:02:46	の構成を一部見直してございます
0:02:50	10 ページをお願いします。
0:02:52	ここから今回の長期評価に対する玄海原子力発電所への影響の確認方針についてご説明いた
0:03:00	11 ページをお願いします。
0:03:04	こちらに影響確認の流れを示してございますが、
0:03:08	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえ、
0:03:11	改めて記載内容等について検討しまして、再整理を行ってござい
0:03:16	資料左側に、既許可時の評価方法を示しておりますが、
0:03:21	まず、結局評価においては、海域活断層、
0:03:24	の評価に於いて、敷地から概ね半径 100 キロの範囲を対象として調査を行ってござ
0:03:31	調査の最初のステップとして、文献調査を行っておりますが、文献調査においては、12 ページに示している通り、
0:03:40	断層の長さ、敷地からの距離を考慮し、
0:03:44	別の影響を与える可能性のあるものが、福岡県西方海域に分布する断層
0:03:49	嶋西方海域に分布する断層
0:03:51	及び、西山断層体と評価してございます。
0:03:55	また、その他の断層については、敷地に与える影響は小さいと
0:03:59	言うふうに評価してござい
0:04:01	その後、詳細な地質調査等行いまして、将来活動する
0:04:06	する可能性のある断層の認定、
0:04:08	それから、地震動津波の評価を行ってござい
0:04:12	次に、今回の中国評価に対する影響確認の方法についてですが、
0:04:17	資料右側に流れを示している通り、
0:04:22	評価時の評価方法に沿って、今回影響の確認を行うこととしてござい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:27	まず、①としまして、検討対象とする断層を選定する
0:04:32	で、
0:04:33	こちらについては、敷地を中心とする概ね半径 100 キロの範囲
0:04:37	の断層を対象、
0:04:38	してください。
0:04:40	次に、②として、
0:04:42	詳細な確認が必要な断層を抽出することとし、
0:04:46	まず一つ目として、
0:04:47	評価時の、その他の断層と判断できる断層
0:04:51	二つ目として、地震本部の断層長さが、
0:04:54	当社の既許可評価より短い断層
0:04:57	これらをスクリーニングアウト
0:04:59	を背負い
0:05:00	その後、③としまして、②で抽出した断層について詳細に確認す
0:05:05	いう流れで来検討を行ってください。
0:05:09	14 ページをお願いし
0:05:12	から、今回の長期評価に対する影響確認のうち、活断層評価について
	ご説明いたし
0:05:20	15 ページをお願いし、
0:05:22	先ほど 11 ページにてご説明した流れに沿って影響確認を行ってござい
	ます
0:05:28	まず①としまして、検討対象とする断層の選定を行いますが、
0:05:32	地震本部にて示された九つの断層のうち、
0:05:36	1 を中心とする概ね半径 100 キロ範囲の断層を検討対象とすることとし
	ており、
0:05:41	が、津島北方沖断層は、敷地から十分に遠いため、検討対象外とし、残り
	八つの断層を選定してください
0:05:52	次、16 ページをお願いします。
0:05:55	次に、②としまして、詳細な確認が必要な断層を抽出しております。
0:06:01	別にあたっては、一つ目として、既許可評価におけるその他の断層と、
0:06:06	判断できる断層スクリーニングアウトすることとしており、
0:06:11	許可評価における文献調査において、白山沖に示される断層は、敷地
	に与える影響は小さいその他の断層と評価してください。
0:06:20	今回の地震本部の世良島沖における評価は、菊岡評価における文献
	とほぼ同じトレースであることから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:27	評価評価と同様に、敷地の影響、
0:06:30	敷地に与える影響は小さいその他の断層と判断し、白尾シマ沖断層体は、スクリーニングアウト。
0:06:38	ということで、検討をどうぞ
0:06:41	17 ページをお願いします
0:06:43	次に、②の二つ目として、地震本部の断層長さが既許可評価より短い断層をスクリーニングアウト。
0:06:51	とどうぞ
0:06:52	具体的には、そのさま隠岐の島限界断層
0:06:55	岩上山県西方沖断層
0:06:57	シバ南方沖断層及び
0:06:59	掘場ソネ断層、
0:07:01	断層
0:07:02	これらは地震本部の断層長さが既許可評価より短いことから、
0:07:06	ガード講師どうぞ
0:07:08	以上のスクリーニングアウトの結果、表中、赤囲みで示しております三つの断層を、詳細な確認が必要な断層として中止
0:07:16	抽出しており
0:07:18	18 ページをお願いします。
0:07:20	こちらに、先ほど申しあげました①②でスクリーニングアウトした結果の一覧を示どうぞ。
0:07:27	詳細な確認が必要と判断しました。今回の三つの断層について、
0:07:32	オノシマ見解断層体と第 1 号藤田井断層体は、前回ヒアリングでも、詳細な確認が必要な断層と
0:07:40	いうふうにしておりましたが、
0:07:42	今回改めて影響確認の方法を整理し、
0:07:44	津島ヒガシ水路断層も、
0:07:47	詳細な確認が必要な断層と
0:07:49	ことで判断をどうぞ
0:07:52	10 ページ以降で、この 3 断層についての評価内容を整理するとともに、既許可評価への影響についてご説明いた
0:08:01	20 ページをお願いします
0:08:03	まず、オノシマ金海断層体について、
0:08:07	詳細、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:08	確認の結果を整理するに当たりましては、前回ヒアリングでのご指摘等も踏まえ、地震本部、既許可における評価、
0:08:17	内容
0:08:18	及び、双方の評価の違いを整理した上で、当社の考えが明確となるよう、資料構成を見直してござ
0:08:26	21 ページをお願いし
0:08:29	こちらには、地震本部における評価と、既許可評価の概要を示してござ
0:08:35	い
0:08:35	地震本部では、地震本部では、
0:08:38	全長 63 キロの断層として評価されておりますが、
0:08:42	評価では、地震本部と同じ位置に、
0:08:45	約 51 キロの北東部の断層群と警固断層体の 1 号ニイツ
0:08:51	認定しております
0:08:53	地震法務と評価評価では、セグメントの位置に差異が認められますので、
0:08:58	それぞれの評価内容を確認し、議長は、評価への
0:09:02	ついて確認をしております
0:09:04	22 ページをお願いし
0:09:07	こちらが地震本部の評価になりますが、地震本部では、北西沖
0:09:13	区間、36 キロ東方沖区間 28 キロ、合わせて 63 キロの、左横ずれの断層として評価されており、
0:09:20	北西沖と東方沖の区間については、断層トレースに、
0:09:25	ギャップが存在するということから連続した断層ではなく、区間分けがされており、
0:09:31	この評価に当たりましては、6 ページに、地震本部が用いた探査測線を
0:09:37	掲載しておりますが、こちらを踏まえると、地震本部主に地質調査所の音波探査記録をもとに評価していると
0:09:44	いうふうに推定さ
0:09:47	23 ページをお願いいたします。
0:09:51	評価では、地震ホームとほぼ同じ位置に、一基北東部の断層群と、左横ずれの 5 断層体の一部を認定し、
0:10:00	当社の評価に際しましては、地震本部が使用した地質調査所の音波探査記録に加え、
0:10:07	海上保安庁、
0:10:08	電力中央研究所、及び当社独自の音波探査記録をもとに断層評価を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:13	しており、
0:10:14	また、この評価範囲において、許可以降、他機関も含め、新たな音波探査記録はないということも確認してください
0:10:22	次のページ 24 ページに既許可評価の詳細を掲載しておりますが、
0:10:28	北東部の断層群は、全体的に断層の走向が一定せず、累積性及び連続性に乏しい断層
0:10:35	その一部は火山活動に関連して断層
0:10:39	いうふうに推定されるに対しまして、
0:10:41	警護断層体西部は、
0:10:43	福岡県西方沖
0:10:45	の余震分布域に対応する、左横ずれで累積性のある断層であり、
0:10:50	北西部では、断層端部に
0:10:52	大きな、スプレー状の構造が認められる
0:10:55	から、
0:10:56	二つの断層では、地質構造が異なるというふうに評価をしております、
0:11:01	また、警護断層体の北西延長部では、B層の基底面がほぼ水平な、
0:11:08	データ面をなし、
0:11:10	断層に伴う変状が認められないことから、
0:11:13	当社は連続しないこと等で
0:11:15	指定認定をしております
0:11:18	24 ページは、今ご説明した通り既許可評価の詳細を示したのですが、
0:11:24	前回ヒアリングでのご指摘を踏まえまして、図面の
0:11:28	鮮明度を向上させ、すぐ凡例にコメントを追加してござ
0:11:33	25 ページをお願いし、
0:11:35	こちら、卸近海断層体に対する影響オカ
0:11:39	の結果でござい
0:11:41	地震本部と既許可評価では、セグメント 1 に差異が認められますが、
0:11:47	違いについては、
0:11:48	主張した音波探査記録の情報量の違いによるものと考えられ、
0:11:53	当社は、より多くの情報に基づき、断層性状を詳細に分析した上で、セグメントを検討しているころ、ことから、
0:12:01	当社補当社評価の見直しは不要と。
0:12:04	いうふうに判断をさせていただきます。
0:12:08	26 ページをお願いし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:10	次に、津島東水道断層についてです。
0:12:14	27 ページをお願いします。
0:12:17	こちらに、受振本部による評価と結局評価の概要を示しております。
0:12:21	地震本部では、長さ 27 キロの断層として評価されておりますが、結局評価では、地震本部とほぼ同じ位置に 126、
0:12:30	イハラ東郷沖断層群を認定しており、
0:12:33	地震法務と結局評価では、断層長さに差異が認められますので、それぞれの評価内容、
0:12:39	市、既許可評価への影響について確認をして、
0:12:44	28 ページをね、
0:12:48	地震本部では、
0:12:50	長さ 27 キロのみ、右横ずれ断層で、南東側隆起の縦ずれ変位を持つ
0:12:57	されております
0:12:58	この評価にあたっては、6 ページに示す。
0:13:01	ええ。
0:13:03	地震本部が用いた探査測線を踏まえると、地震本部主に地質調査所の音波探査記録をもとに評価しているというふうに推定さ
0:13:13	29 ページをお願いし
0:13:17	評価評価では、地震本部とほぼ同じ位置に、仕様値の約 26 キロの
0:13:23	本人
0:13:24	ており、
0:13:25	評価に際しましては、N-S本部
0:13:28	でも使用されております地質調査所の音波探査記録に加え、
0:13:32	海上保安庁及び石油公団の音波探査
0:13:35	ごとに断層評価を
0:13:37	しており
0:13:38	また、当該断層付近においては、結局評価以降、日本海地震津波調査プロジェクトが反射法で、
0:13:45	そうですし、当社とほぼ同じツツミ断層認定
0:13:49	ことを確認してござ
0:13:51	次の 30 ページにオカ評価の詳細を掲載しておりますが、
0:13:56	当社は、泉原豆腐断層群の北端について、
0:14:01	1000 ナンバー7 における
0:14:04	南波ナカ7 において、当該断層の延長部に変位変形が認められないことから、これを染野層

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:11	いう話でござい
0:14:13	ランタンにつきましては、地質調査所の測線Lava115において、
0:14:19	当該断層の延長部に変位変形が認められないことから、これを止めの測線
0:14:24	さらにその南側にあります海上保安庁の測線、PSナンバー5の
0:14:29	においても、
0:14:30	当該断層の延長部に変位変形が認められないことを確認してござい
0:14:37	31 ページをお願いします。
0:14:41	こちらが、津島東水道断層体
0:14:43	断層に対する影響確認の結果となり、
0:14:47	地震本部と評価評価では、断層長さに、
0:14:51	差異が認められますが、
0:14:52	その違いについては、使用した音波探査記録の情報量の違いによるものと考えられ、
0:14:58	当社は、より多くの情報に基づき、断層評価を実施
0:15:03	から、
0:15:03	支社評価の見直しは不要と。
0:15:06	いうふうに判断してござい
0:15:10	32 ページをお願いします
0:15:13	次に、第1ゴトウ田井断層体について、
0:15:19	33 ページをお願い
0:15:22	こちらに、地震本部による評価と、結局評価の概要を示しており、
0:15:27	まず地震本部では、長さ73キロの断層として第1ゴトウ、田井断層対が評価。
0:15:34	が、
0:15:35	オカ評価では、
0:15:37	第1ゴトウ田井断層体の北側の位置に、約34キロの宇久島北西沖断層群として、
0:15:44	10Wの
0:15:45	及び、フジIWのに直す
0:15:48	第1号藤田井断層体の南側に、約19黒野仲通り座間西方沖断層群として、
0:15:55	GWさん及びフジIW4を評価してござい
0:16:01	地震ホーム登記許可評価では、断層長さに差異が認められますので、それぞれの評価内容か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:10	にて確認をして、
0:16:13	34 ページをお願いし、
0:16:17	こちらに地震本
0:16:19	で、
0:16:20	よる評価を掲載しておりますが、地震本部では、
0:16:24	津島の南方 60、
0:16:26	5 キロ程度沖合に、73 キロの断層を認定しており、
0:16:31	ただし、認定に当たりましては、
0:16:34	断層周辺は、評価に用いた主な探査測線の外側にあるため、
0:16:40	断層端点 1 の信頼度、
0:16:42	それに基づく断層長さの信頼度を判定でき、
0:16:46	九州電力や、海域における断層情報総合プロジェクト、
0:16:51	日本海地震津波調査プロジェクトによって、活断層が認定されているが、
0:16:56	それぞれの
0:16:57	断層の認定範囲が一致しない。
0:17:00	本評価では、それぞれの違いを評価できないと判断し、それら全体を一連の活断層たいと
0:17:07	いうふうに記載がされてございま
0:17:10	プロジェクト等の活断層認定については、次のページにてご説明いたしますが、地震本部が参照した二つのプロジェクトを比較した結果、
0:17:19	断層情報総合プロジェクトによる断層トレースが、地震本部と最も類似している。
0:17:25	コガご確認いただけるかと思い
0:17:28	た日本海地震津波調査プロジェクトでは、中通座間西方沖断層群
0:17:34	FGW4 の北端付近において、既許可評価以降に調査が実施されて
0:17:40	ことを確認して、
0:17:44	35 ページをお願いし、
0:17:47	こちらには、地震本部が参照していております、二つのプロジェクト及び
0:17:52	九州電力 2013 における当該海域における断層認定の方法について、概略を整理してござい
0:18:00	まず、海域における断層情報総合 4 日プロジェクトでは、石油公団の音波探査記録をもとに断層に
0:18:08	その連続性は海底つきより判断する
0:18:12	いうふうに推定をしております

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:14	次に、日本海地震津波調査プロジェクトでは、岸コガ許可以降に、同プロジェクトが実施した音波探査記録をもとに、断層を認定し、
0:18:25	その断層モデルの長さについては、海底地形に基づき設定がされており
0:18:31	なお、この二つのプロジェクト、
0:18:33	の
0:18:35	については、それぞれの報告書をもとに、
0:18:38	今回の記載をしてござい
0:18:41	一方九州電力 2013 では、石油公団の音波探査記録に加え、
0:18:46	独自にストックした音波探査記録をもとに断層の認定及びその連続性を、
0:18:53	従いまして、二つのプロジェクトが海底地形により断層長さをせ
0:18:58	し、九州電力、
0:19:00	では、音波探査記録をもとに、断層評価を行っている
0:19:03	と言う点に違いがござい
0:19:07	36 ページをお願いし、
0:19:11	この子ページ以降で、当社の既許可評価に関する説明をさせていただきますが、
0:19:17	まずここには、どういう着目点で確認を行ったのかという内容を整理してござい
0:19:24	まず神本部が評価しております、第 1 ゴトウ田井断層体の北側に、
0:19:28	東大地のフジイW1 及びフジイW2 を、
0:19:33	南側にヒガシオオウチのフジイW4 を、
0:19:37	当社は認定しており、その長さに差異が認められますので、
0:19:41	まず①としまして、フジイW2 断層の南端の止めの評価。
0:19:47	及び、
0:19:48	②としまして、フジイW4 の北端及び南端の止めの評価について確認をしてござい
0:19:55	また、フジイW4 の北端付近では、日本海地震津波調査プロジェクトによる音波探査記録、
0:20:02	が既許可以降に公表されておりますので、
0:20:06	③としまして、当該プロジェクトの音波探査記録を踏まえても、
0:20:10	他へ評価に影響がない。
0:20:12	ということを確認してござい
0:20:16	37 ページをお願いし

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:20	37 ページから 40 ページには、30
0:20:23	6 ページにてご説明した着目点に沿った評価内容を示しております
0:20:28	いずれのページも、評価内容については、前回ヒアリングからの変更が ごさい
0:20:33	なお、
0:20:34	このページに示す断面図につきましては、既許可時の、
0:20:38	審査会合にてお示しておりますので、その旨を追記してごさい
0:20:42	38 ページをお願いし、
0:20:45	こちら、フジイW4 の北側の評価に関する説明
0:20:49	評価内容自体に変更はございませんが、
0:20:52	資料の充実化を図るため、
0:20:55	ナンバー22 測線を追加してごさい
0:21:00	39 ページをお願いし、
0:21:02	こちら、日本海地震津波調査プロジェクトによる反射法地震探査を踏ま えた、当社評価に関する説
0:21:11	こちらも評価内容自体に、前回ヒアリングからの変更はございませ んが、
0:21:16	平面図断面図の、
0:21:18	記載の整合がとれてない部分がありま
0:21:20	で、その点について記載の適正化を図ってごさい
0:21:24	40 ページをお願いいたします。
0:21:26	こちら、フジイW4 の
0:21:29	ランタン。
0:21:30	に関する評価でございま
0:21:33	こちらも評価内容自体には、前回ヒアリングからの変更はございませ ん。
0:21:39	41 ページをお願いいたします。
0:21:42	ここから第 1 号等対談相対に関する許可評価への影響確認結果となり ますが、
0:21:49	地震本部と差異があった断層長さについては、記載の通り、当社独自 の
0:21:56	調査測線にて確認しており
0:21:59	また、日本海地震津波、
0:22:01	調査プロジェクト、
0:22:03	が既許可以降に公表した音波探査記録を踏まえても、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:07	測線No.21 が、
0:22:09	フジW4 断層の止めの根拠とする。
0:22:13	評価評価に影響はないと。
0:22:15	ことも確認してください
0:22:18	42 ページをお願いします。
0:22:21	第 1 ゴトウ田井断層体に関するこれまでの説明になります
0:22:26	地震本部同期強化評価では、断層長さに差異が認められますが、
0:22:30	その違いにつきましては、使用した音波探査記録の情報量の違いによるものと考えられ、
0:22:37	当社は、他機関及び当社独自の音波探査記録をもとに、測線間隔を密にした上で、
0:22:44	断層及びその連続性を評価している。
0:22:47	また、
0:22:49	地震本部と最後は、断層の端部については、当社独自の調査測線にて確認でき、
0:22:54	から、
0:22:55	当社評価の見直しは不要。
0:22:57	いうふうに判断をしてください
0:23:00	43 ページをお願いします
0:23:01	これまでのまとめになります。
0:23:04	44 ページをお願いします。
0:23:07	地震本部が今回公表しました長期評価第一波について、
0:23:11	既許可時の評価方法に沿って、
0:23:14	玄海原子力発電所の既許可評価への影響確認を実施して、
0:23:19	耐活断層評価、
0:23:21	他への影響についてですが、
0:23:24	断層長さ等に着目して比較を行った結果、
0:23:28	地震本部で示された。
0:23:30	オノシマ金海断層対津島ヒガシ水道断層及び第 1 号棟断層体の 3 断層を、
0:23:36	詳細な確認が必要な断層として抽出しており、
0:23:39	ノダ、三つの断層について、
0:23:43	評価評価では、既往の公的機関の測線に加え、
0:23:47	当社独自の音波探査記録等に基づき、
0:23:50	詳細な検討を実施していることから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:53	よく評価を見直す必要はないと。
0:23:55	いうふうに判断をしてください
0:23:58	次に、地震動評価、津波評価への影響について、
0:24:02	甲斐活断層評価を見直す必要はないと。
0:24:06	だから、
0:24:07	基準地震動及び基準津波への影響はないと。
0:24:11	いうふうに判断をしてください
0:24:13	確率論的地震ハザード評価、確率論的津波ハザード評価につきましては、
0:24:20	前回ヒアリングから一部記載を変更しておりますが、
0:24:23	海域活断層評価を見直す必要はないと。
0:24:27	及び、地震本部で示された、整理区域における、
0:24:31	海域活断層の活動と、
0:24:32	Bから請求と、既許可評価における活動と、
0:24:36	地震ハザードB
0:24:38	ハザードA級の下限からC級の上限
0:24:41	は概ね同等であるから、
0:24:43	ハザード評価についても影響はないというふうに判断をしてください。
0:24:47	以上を踏まえまして、今回、地震本部が公表した長期評価に対する、玄海原子力発電所の既許可評価への影響はないということを確認した後、
0:25:00	45 ページをお願いします。
0:25:04	参考資料についても前回ヒアリングからの
0:25:07	ご説明、
0:25:10	46 ページをお願いします
0:25:12	こちらのページには、地震動津波評価を行う際の断層長さについて記載しておりますが、
0:25:18	今回、詳細の確認が、そのダンス
0:25:21	層を、津島東水道断層を加えた三つとしたことから、その内容に照らした記載の変更を行っており、
0:25:30	47 ページをお願いします。地震動評価への影響確認についてです。
0:25:35	48 ページをお願いします。
0:25:38	こちらに評価フローを示しておりますが、津島ヒガシ石堂断層を対象として追加した以外、
0:25:44	変更がござい

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:46	49 ページをお願いし、
0:25:50	こちらには、津島ヒガシ石堂断層を含む三つの断層を対象としたMΔによる、
0:25:55	を示しており、
0:25:58	オノシマ金海断層体及び第1号藤田井断層体は、震度5弱。
0:26:03	程度以上の揺れが、
0:26:07	いろいろ阿蘇は、
0:26:08	震度5弱程度以上の揺れは想定はされません。
0:26:12	50 ページをお願いします。
0:26:15	こちらのページは、前回ヒアリングでもお示しております、既許可における検討用地震の選定結果です。
0:26:22	忘れ資料の変更はございませんが、説明文の記載を一部見直してございます。
0:26:29	51 ページをお願いする
0:26:32	前回ヒアリングでは、オノシマ金海断層体と第1号藤田井断層体を一つのグラフの中で比較しておりましたが、
0:26:40	今回の資料では、それぞれ個別に比較するものとして、資料構成の見直しを行って5
0:26:47	既許可表、また、
0:26:49	既許可評価における断層位置が近い断層
0:26:53	オノシマ金海断層体、
0:26:55	ていうと、規模、
0:26:57	断層体と域北東部の断層部になりますが、
0:27:00	それらを比較対象
0:27:02	として参考に追加しており、
0:27:04	小田島金海断層体の応答スペクトルは、検討用地震である。
0:27:09	5番、城山ミナミ
0:27:10	よりも小さく、検討し、
0:27:12	影響はないということを確認しており、
0:27:16	52 ページをお願いします。
0:27:19	こちらが第1号棟対岸相対の応答スペクトル。
0:27:23	の比較ですが、こちらも検討用地震の選定には影響はないということを確認しており、
0:27:29	53 ページをお願いし、
0:27:32	次に津波評価への確認結果について、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:36	54 ページをお願いし
0:27:39	こちららも評価フローでございますが、津島ヒガシ石堂断層、
0:27:42	を対象として追加した以外の変更はございません。
0:27:47	55 ページをお願いし
0:27:51	こちら、
0:27:52	ニワ、シマヒガシ隧道断層を含む三つの断層を対象とした簡易予測式 による、
0:27:58	を示しており、
0:28:00	オノシマ金海断層体及び第 1 号棟断層体は、1 メートル以上の
0:28:06	津波高が想定されるのに対し、津波、
0:28:10	直そうは 0.5 メートルとなっておりますので、数値シミュレーションの対象 ではございま
0:28:16	また、参考としまして、
0:28:18	許可評価における結果、もう
0:28:20	肥後さん
0:28:23	56 ページをお願いし、
0:28:25	こちら、前回ヒアリングでもお示しておりますが、
0:28:28	③の上縁深さに関する記載が、
0:28:33	わかりにくい表現となっておりますので、記載の適正化を図っており、
0:28:38	57 ページをお願い
0:28:41	数値シミュレーションの結果に変更はありませんが、
0:28:45	対象として、58 ページに、
0:28:48	評価における結果を対
0:28:50	してございます。
0:28:53	説明は以上でござい
0:29:01	はい。説明ありがとうございました。一応、
0:29:04	これ資料としては 3 回目ということなので、
0:29:10	昨
0:29:11	進めて、
0:29:12	きます。
0:29:13	カー。
0:29:21	ちょっと最初、ちょっと細かいところであるわけないまま、ちょっと資料の 細かい話になる。
0:29:26	けど冒頭のところはですね。
0:29:30	これ今、6 ページ 2、概要の説明のところ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:36	ボーリングの位置、地震本部 2010 飯尾とか、
0:29:39	音波探査記録等って書いてる、何かこれだけボンと出てきて、
0:29:43	何か後ろを見ていくと、
0:29:45	何か主な、
0:29:46	地震本部の 2022 で、主にはこれを使って、
0:29:51	それ以外にも前のページにあるようなものも引用しながらやっていますよ って説明が後に行くと出てくる
0:29:57	ここではだから単に、
0:29:59	ボンと図だけが出ていて、何か前のページ見ても、
0:30:02	5 ページ見ると地震本部は、9 電 2013 の評価も含めた各機関のついで う何かすべてを、
0:30:09	統括に扱ってますというふうに書いてあって、何か表の説明とちぐはぐ なんですけど。
0:30:14	ここって 5 ページはこれ、こういうことなんですかね、地震本部 2022 は、主には、
0:30:21	次のページにあるような、
0:30:23	産総研というか旧地質調査。
0:30:26	或いは、
0:30:28	①とか、
0:30:29	あとは 07706 かこれ。
0:30:35	そういうものを使いながら、添 19 で何とかも含めて、
0:30:39	選定してるっていうそういう話なんで、
0:30:43	ちょっと後の説明等をお聞き聞くと、何かここでは、
0:30:48	5 ページでは何かすべて等価値に扱いますで急に 6 ページの表なんか 図が出てきて、後見ると 6 ページの図がたまに引用されて、
0:30:56	何か主には、この 6 ページのもので判断したんだとかっていうで、何で 情報量に差があるんだっていう論旨になっていて、
0:31:03	ちょっとその関係がわかんないんで教えてもらいたいですけど。
0:31:12	はい。九州電力の徳永です。地震本部の今回の長期評価で前半の部 分に大きな概要として引用したたという表現がなされてましてそれに 5 ページの記載が、
0:31:25	あると、実際に評価文の中ではどのデータを使ったかと、明確に各断層 ごとに記載がされていないところがございまして、
0:31:35	一応我々の中で、もともとこう見ただろうというデータを見ながら、ここは
0:31:42	各断層の評価の対象外。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:45	なので、そこは使ってないだろうというふうな表現を、
0:31:51	頭の中にちょっと入ってしまって、最終的に結局はこの産総研の 6 ページに使った主な反射、
0:31:59	地震探査測線をベースに使ったんだろうというふうな推定を入れてまして、素行がちょっと今、記載をそれを踏まえて記載をしているというような状態になってございます。以上です。
0:32:16	ごめんなさいそうすると 5 ページのところ主にこれを基にっていう書くのは、長許可にそこまでは書いていないと。
0:32:25	一方で 6 ページの将来は長期評価に用いた主なと言ってるこれ多分主語は推本ですよ。
0:32:31	推本がこう言っているということを、
0:32:33	この図の名前は間違いない。
0:32:35	津金。はい。
0:32:38	そしたらあれですかねえ。6 ページの図のちょっと図をもうちょっとちっちゃくなっちゃいますけど、
0:32:46	ここ、
0:32:47	下の図、ものをその主なものを用いたとされているとか、
0:32:52	町教科でこうこう言われてるんですよっていう言い方で、
0:32:56	ちょっと 5 ページには書けないってことですね。はい。そこは理解しました。はい。
0:33:01	うん。
0:33:03	その上で 7 ページとか 8 ページとか、
0:33:07	この辺は図をわかりやすくしてもらったし、
0:33:11	一応 11 ページのフローも、右側のフローの第 1 段階が 100 キロ。
0:33:19	よくやってる 100 キロですよ。それ左側と対比対応する形に
0:33:24	なっていて、
0:33:25	第 2 段階で、
0:33:29	その他断層と言われるもの。
0:33:33	余りにも短かったり手前にもっと長いものがあったりっていうものだったり、或いは地震本部よりも、の方は短い評価をしているんでこれは変える必要ないでしょうっていうもの。
0:33:44	その判定基準を書きましたと。でさ、それで残ったものを詳細に
0:33:50	いうこと。
0:33:53	その上であれですね、これわあ、そっか、どうフローをどうたどったかも一応、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:01	細かい
0:34:02	この辺はあまりかな。
0:34:05	うん。
0:34:07	今回なんで、15 ページみたいに打球断層のうちまず 1 個は、
0:34:13	これは 100 キロから遠いんで第一段階で音、
0:34:18	次が第二段階で一つ目が園田断層というもので、これ
0:34:24	右側に関岡清鍛冶の評価と書いていて、
0:34:30	岡村があって当該断層について同じ双方かつ、
0:34:34	長井断層が敷地のより近い位置に存在することから、1 点はこれ西山断層のこと。
0:34:41	九州電力の徳永です。ご指摘の通りでございます。
0:34:45	はっきりと書いてしまった。西山。
0:34:48	檀曾田以下
0:34:52	もしくはこの段階では西山断層と言って、110 キロなんかもうちょっと近いやつで見ているのかわかりませんが、
0:34:59	つまりこのすぐ手前にある西山断層体ですよ。多分警護断層とかも、
0:35:04	までを含んでは、
0:35:06	ないのかな。
0:35:08	ミヤマ断層がありますっていうことでも西山断層がありますし、
0:35:12	西山断層と江藤エミにするんだったらどうでもいいんですけど、
0:35:16	そこははっきりと書いてしまえば、
0:35:20	で、そう書くんだったら左側の図のところ、
0:35:24	これでこれですとか、ミヤマ断層ですね。
0:35:28	こんな長いやつがありますよねと言ってわかるようにしてしまえば、これは趣旨としては理解し、
0:35:40	そうすると残りが七つで、
0:35:42	それ以外のものは、
0:35:48	次のその一覧表で、
0:35:52	スクイーズアウトします沖野シマ金甲斐とかですかね。
0:35:59	そうすると七つから 123 四つはじかれるので、残りが三つでこれについてはフローでいうと 3 番目の詳細な確認に行きますと、
0:36:12	ということで、
0:36:14	この流れはわかりやすくなったんじゃないかなと思います
0:36:19	ちょっと前回言ってないんですけど、これ一、
0:36:22	苔 5 断層と西山断層、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:26	はい。
0:36:27	については、これ以上長期評価上って今回改めて表、
0:36:32	貸したことになるんではたっけ何かあれ。
0:36:35	一応本文見ると一応、菊川藤とけゴトウ西山断層体は、多分ももとのそれぞれの長期評価があって、
0:36:46	そこに記載はあるんだけど、一応海域部、
0:36:51	について反射断面から断層位置を確認した点も一応参考として記すみたいない形で、
0:36:58	なっているんで、
0:37:06	宮村総代とクボは総代に何か米でも売って、こうこうこうこういうことで参考として、
0:37:14	書かれているものとかっていう形で、
0:37:18	新しく何か反射断面から断層位置を確認したとか、多分、評価変わってないんですよ。これ 110 キロとかその、
0:37:25	55 キロとか端部とか 1 とか長澤変わってないんですよ。
0:37:30	はい、九州電力の徳永です今鈴木さんのご指摘の通りでございまして九州地方の長期評価 2013、もしくはの形は断層で言いますと 2007 の長期評価から、変わってはございませんので、その記載を明文化したいと思います。以上でございます。
0:37:45	はい。
0:37:46	多分警固断層の状況が西山断層の状況か西山断層の一部改定なのかな 2016 で、
0:37:54	について一応海域部を含むので、参考として記されているものっていう多分、
0:38:01	それでノモトの長期評価からか、別にならないうんですよということだと思わうんですけどね。
0:38:07	はい。
0:38:09	で、一応、詳細に進みますと、
0:38:15	茂呂の嶋金海は、
0:38:22	はい。
0:38:24	一応 22 ページのところ北西沖と、
0:38:29	炭素等ですね、ギャップが存在するので分けしているという。
0:38:34	ここは多分、鍵括弧で囲ってあるところは長期オカから正確に持ってきてるんですよこれ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:40	はい。九州電力の徳永サノにもご指摘の通りでございます。以上でございます。
0:38:46	はい。これも前回までに確認しますけど次の一番最後の四角ですかね 主なこういう形で主な探査測線と書いてあることを、
0:38:57	踏まえるとおそらくこの地質上サノをもとに推定したんだと。
0:39:01	思われます。
0:39:02	と言って、
0:39:08	次に次のページではそれに比べて我が社はといて、
0:39:13	こういう評価をし、
0:39:18	これは 24 ページは一応前回のものを、
0:39:21	安くしてどれを自社が使ってどれを、
0:39:25	何だ。
0:39:27	多分町局がどれを主に、
0:39:31	なのかっていうのが、ノモにしたのかっていうのと、あと、図を少し、
0:39:35	今日からわかりやすくしてもらったのかな。
0:39:38	そのぐらいですねここ。
0:39:42	一応このデータの情報量の
0:39:47	間違いであろう。
0:39:49	汚泥間のちょっと警護断層の一部に含めるのか
0:39:54	どうかっていうところで差が出たということで、
0:39:57	ここは自社のもともとのより情報量が多いであろう判断を、
0:40:04	そのまま残しますということで、
0:40:06	この説明はは何となくわかりました。今回もう一つが津島。
0:40:12	これ導水をヒガシスギタでしたっけ。
0:40:15	これが 1 キロぐらい違いますよということで、
0:40:21	これも、
0:40:23	文章としては、
0:40:27	一緒なのかな 28 ページ見ると、地質調査上のもので判断したと推定さ
0:40:34	残念ながら、ここまでは多分P6 踏まえることになってんすけどと国井。
0:40:40	P6 の図に相当するようなところの説明で、こういうもともとの地質調査 上のデータが充実してるものはここ、
0:40:48	エリアについては、
0:40:49	それを重視しますとか、そこまではっきりとしたことは書いてないんで す。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:55	九州電力の徳永です。今鈴木さんのご指摘の通り、そういった重視をしますという表現は、記載はございません。
0:41:05	はい。井筒高トレースの仕方からすると多分そうだろうと推測しましたという、
0:41:10	そこは、
0:41:11	三つにはこれだというふうに多分断言した書き方はできないですね。はい。
0:41:19	この
0:41:20	多少
0:41:23	データが、そうかこっちは自社のものではなくて、回程石油公団をもとに、プラスアルファしてますと。
0:41:32	ということ。ただですね何かここで海上保安庁及び石油公団の、
0:41:38	って言っているんですけど、
0:41:40	なんかその下許可の評価の詳細を見るとですね。
0:41:46	地質上サノDSN11号、
0:41:49	ていうのと、あと海保の
0:41:52	TSNナンバー5-3とかっていうのは出てくるんですけど、
0:41:57	これ、次の図のところで一応この
0:42:01	断層のですね、松島岩瀬
0:42:04	等水ヒガシ。
0:42:07	この断層の許可評価っていったって判例も出てくるんですけど、
0:42:11	地質調査での音波探査記録これはひし形のやつですよ。
0:42:17	海保のものが、TSNコウノさんとかだから、
0:42:25	少し太めに、
0:42:27	マーキングをしてあるやつですかGAものTSではなく、
0:42:32	これが、
0:42:33	ご質問ひし形じゃなくて、
0:42:35	網アノ、
0:42:37	水平鉛直、網目状に、
0:42:39	行ってる。
0:42:41	石油公団とこどれになるんで、
0:42:50	九州電力の村上です。
0:42:53	まず海上保安庁の測線につきましては今鈴木さんがおっしゃられた、
0:42:57	通りの測線で、色としましてはちょっと、
0:43:00	薄いグレー灰色で示しております。格子状の測線になります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:05	石油公団につきましては、
0:43:07	本数少ないんですけれども、
0:43:12	ピンク、
0:43:13	の色で示してございます。具体的に申し上げますと、AGSナンバー4の少し上に、左上から右下に、
0:43:22	走ってくるような測線が、
0:43:24	あるかと思えます
0:43:27	はい。
0:43:28	こちらが、スキー後段の測線でございます
0:43:43	はい。あと、これ日本海地震津波プロジェクトの調査測線といってこれが多分東大の測線なんですけど。
0:43:51	これはあんまり、
0:43:55	地震本部 2022 との関係が何か書いてないんですけど、
0:44:00	これは、
0:44:06	これはわからんわけですね、多分ここに測線がとってあって、
0:44:12	日本海の、
0:44:13	地震津波調査プロジェクトでは一応ここで測線をとって何かしら評価をしてるかもしれないけど、それが超強化 2022 の中で、
0:44:22	この促進がどう使われたのか使われてるのか使えてないのかっていうのは、
0:44:26	わからんっちゃうことですか、これ。
0:44:29	九州電力の村上です。
0:44:31	まず測線につきましては左下の方から右上に走ってる、丸本がついてる測線になります。
0:44:42	青井測線で、
0:44:43	はい。
0:44:44	こちらに関する地震本部の評価としては、
0:44:50	日本海地震津波調査プロジェクトにおいて、
0:44:54	東傾斜の逆断層であるというふうに報告はされているんだけど、
0:44:59	地震本部の評価としては横ずれ断層として活動していると判断した
0:45:04	いう旨の記載。
0:45:07	がございます。
0:45:11	そういうことですか。
0:45:13	日本海調査部地震津波調査プロジェクトの測線では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:18	認定された断層とかその評価っていうのは、ちょっとその地震本部 2022 では別のような、
0:45:25	別々というか、
0:45:27	考慮してたら、そうなんですよね。
0:45:30	ということですね。
0:45:32	何かここで、この測線が出てくると。
0:45:35	あれ、何か前のページだとデータが違うって言ったけど、
0:45:39	でも、
0:45:42	認定している。
0:45:44	と前のページにも書いてあるし、
0:45:47	とかね。
0:45:48	ちょっとそこら辺の話が普通と最後、
0:45:54	長期評価との関係でいうと、確かにそうなんですけど、その過程で、当然わかっているというか多分、
0:46:00	その過程の田部井フェアとかでもスクリーニングしてるんだと思いますけど、
0:46:06	この
0:46:07	途中で出てくる日本海津波、
0:46:09	地震津波調査プロジェクトの
0:46:12	評価と言われるものとの関係が、
0:46:15	なんか 29 ページに、各日本海の調査ブロックの断面取ってます。同じ位置に断層認定してますとって、
0:46:25	それがじゃあちょっと西長清川 2022 とどういう関係にあって、っていうのは何もないままですね。
0:46:32	そのまま宙ぶらりんになってるんですけど、
0:46:41	とすると今の説明だと 29 ページで、
0:46:44	三つ目の四角で、
0:46:47	当該イトウ社とほぼ同じ認定してい
0:46:52	いる。
0:46:54	長期評価等も多分ほぼ同じ位置認定してるってことなんですよね。
0:46:59	ただ、それをどういう、どういう断層かっていう評価が全然超強化と違って、
0:47:05	そういう状況下ではそれと異なって、かくかくしかじか当社と同じようなこういう横ずれ断層として、
0:47:12	できてるんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:15	だからこのプロジェクトのところについてはもうこれ以上何も言いませんという
0:47:20	そういうことなんですね。
0:47:22	するなら、ちょっと529ページとか宙ぶらりんにならないように変えましょうとは言っておりますけどね。
0:47:29	その上で、当社とほぼ同じ位置に断層認定してるっていうと、何となくここでも新しいことわかってるんだ。
0:47:37	なんかその、
0:47:40	相反してる、手帳強化が、別にこのプロジェクトの
0:47:45	断層の評価を、その次にしてないっていうかその採用しないんだったら、
0:47:49	それがわかるようにはっきり書いてあげれば、
0:47:54	と思いますけどね。あと、
0:47:59	それ大丈夫ですか。
0:48:00	今言ってるところ。
0:48:02	はい、九州電力の村上です。
0:48:04	今ご指摘ありました、日本海地震津波調査プロジェクトの反射記録を、地震本部がどのように評価しているのか、
0:48:14	我々としてどのように判断しているのか、その辺の関係性が明確にわかるように記載の方見直したいと思い
0:48:21	以上です。
0:48:23	はい。なんで長期評価この断層について、津波、地震津波プロジェクトの
0:48:30	評価を何か直接書いてあっちではこう言ってるんだけど我々違う判断したみたい、ダイレクトに書いてあればそれをその通りか
0:48:37	そうじゃなければ、プロジェクトの方でこういう評価されてるようなんだけど、
0:48:42	地震本部については我々と同じような、横ずれ断層として評価してるんですっていう書けばいいちょっと形が、中越の長期評価にどう書いてあるかを忠実に表現してくんがあれば、
0:48:53	宙ぶらりんにならないと思いますけど、はい。
0:48:56	もう1個判例でと、
0:49:00	歯医者。
0:49:01	確かに、矢印があったところの連続性のある断層っていうのは、
0:49:05	あれこれわあ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:08	うーん。
0:49:10	これなんでしょうね一応この赤い線とかは、
0:49:13	どっか何か、連続性のある断層っていうふうに、片方出てるんでしょう、これ。
0:49:19	はい。九州電力の村上です。
0:49:22	ご指摘の通り、
0:49:26	活断層図に示す上で、
0:49:30	ひげといいますか
0:49:31	どちらに傾斜しているかというのを示して、
0:49:36	いる、示すべき図面のところ、ところ、
0:49:40	今一つの、そ
0:49:42	線。
0:49:43	での記載になっておりますのでそこは凡例と合わせる形で適正な記載に見直したいと思い
0:49:54	はあ、はいこれ何人出るからとかではなくてあとはなんか、横で何どっちに、
0:50:00	話すかが、
0:50:01	出せないからってということではなくて、この下の凡例が正しいんですか。
0:50:12	伴そうですね。はい。後藤第1対とかではきちんと
0:50:17	判例と整合がとる、合うような記載をしておりますので、そこは全体的な整合をもう一度確認した上で、適正化を図りたいと思います。
0:50:27	はい、わかりましたそうするとだから赤い範囲が、
0:50:31	何か苦労が伏在なのかな。
0:50:35	確かそういうことですね。はい。ここはすいません凡例と図を、
0:50:40	編成後って前も言ったと思いますけど。はい。合わせてください。
0:50:45	はい。ここは少しでも使っているデータに違いがあってもあんまり、日本海地震津波のプロジェクト測線あまり今回、
0:50:54	関係がなくて、
0:50:57	それぞれの端部から、端部の評価のところは変わりませんと。はい。
0:51:08	一応流れとしてはアノウノシマと、この
0:51:12	対馬
0:51:14	シマっていうかこれは許可の津島だから、
0:51:16	あまり何だった。
0:51:18	どっちがどっち。
0:51:20	この二つの断層が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:22	一応、若干端部とか、どこまでセグメントをつなげるかとかっていう、少し違いはありますが、それはある程度その音波記録探査記録の情報の違い。
0:51:35	と考えられると。
0:51:37	で、
0:51:38	その一つのグループ、
0:51:43	次が、
0:51:46	第1ゴトウ体で、このあたりが伝播図面5。
0:51:53	終わりやすくし、
0:51:55	てもらっ。
0:51:56	3334行ですけど、
0:52:02	34ページのところで、一応長期オカのところでも、さっきも聞いたように、P6の、
0:52:10	外側に、
0:52:13	あるんで、ただインテリアだったらここはかぎ括弧で、何かほぼ引用してるように書いてますけど、
0:52:21	ここはやっぱりP6の外側にある。
0:52:23	のでっていうのは明確に書いてあるわけですね。
0:52:31	はい。九州電力の村上です。
0:52:36	この記載につきましては、今おっしゃられとった通り、今回の長期評価の記載をそのまま持ってきてございます。で、厳密に言いますと、
0:52:47	断層周辺は評価。
0:52:49	にもついた主な探査測線、
0:52:51	地震本部の中でここP6ではなくて図3と書いてございますけれども、
0:52:56	その他については本文をそのまま引用する形でここに記載してござい
0:53:03	はい、わかりました。なんで、自分たちで、この長期評価にあたって、
0:53:12	評価しようとした時に測線が、
0:53:14	少ない。
0:53:16	外側にあり、
0:53:17	全員が少ないんです。
0:53:19	そうするとかくかくしかじか。
0:53:21	単点とか、断層長さ信頼度とかも判定できないんで、
0:53:26	かつ、何か三つの評価が別々の発想を引いてるので、タテヤマシタといっても全部1個

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:34	長許可として多分そういうことだと、今回である通りなんだと思うんですけど、
0:53:39	そうすると、
0:53:41	じゃあ、自社の評価と、
0:53:43	二つのプロジェクトっていうのが、
0:53:46	残るわけですけど、
0:53:48	一番近いのがですね断層。
0:53:51	情報。
0:53:56	海域における海域における、
0:53:59	断層情報、総合評価プロジェクト。
0:54:02	トレースと、一番似てますということで、
0:54:07	はい。
0:54:11	その比較ができていて、
0:54:15	次のページからかな。
0:54:17	35 ページで、
0:54:18	一応断層情報、遅総合評価プロジェクトそうちょっと総合評価プロジェクトと簡単に言いますけど、
0:54:26	これわあ、
0:54:29	多分石油、
0:54:31	推定される、これわあここも一応推定ではあるんですけど、一応米数としては石油公団の測線を確か集めましたみたいなのは、
0:54:41	多分何かプロジェクトのところにも書いてあったような気がして、
0:54:45	なので、一応ベースにしてるものは石油公団の測線で、
0:54:50	ただそれ以外に何か使ったのか使っていないのかがあんまり、
0:54:53	はっきり書いてない。
0:54:55	その上で、じゃあどういうふうに断層、
0:54:59	引くのかっていうところで、
0:55:01	少しそ密度もアラインで、地形とかも含めて判読しましたというふうに書いてありま
0:55:10	はい。
0:55:12	デジシャワーそれプラス自社の測線がありますよと。
0:55:19	この間の日本海地震津波調査プロジェクト。
0:55:23	増井は別にこれをおそらくトレースに効いてないとは思われるというものの、
0:55:29	これについては、何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:32	別にこの状況下に限らず、こういうものが出た段階で、何か差分とかをこう確認したりして、
0:55:39	これは何か何をもとに、
0:55:42	聞いてるか、これ1本とかYKワン。
0:55:46	とか、そのもうちょっと左上にあるような、これで別に
0:55:51	評価してるわけでもない。
0:55:53	気もするのですが、
0:55:55	これについては何か情報を上げたりしてるんです
0:55:58	はい。九州電力の徳永です日本海地震津波調査プロジェクトの報告書にですね、この断層モデルを引いているところの設定根拠が記載がございまして、
0:56:09	そこの記載文書の中には、今回のそのYK1の音波探査記録を基に断層を認定したと、な長さについては海底地形をもとに設定したと。
0:56:21	いうふうに壁ってございま
0:56:24	なるほどなるほど。一応その断層認定のソフトは多分これ一つ一つつかこれで行って、どこまで伸ばすかっていうか北と南に伸ばすかは、
0:56:35	一応海底地形図を基にしたっていう。
0:56:38	一応ここはそういう評価になってるんですね、そろってるわけですね。
0:56:44	なるほど。
0:56:49	はあ。
0:56:51	ある程度その忠実に、
0:56:56	書いては、
0:57:02	そうすると自社の評価等、
0:57:07	とりあえず自社で言うところのフジイW1フジイW2、これが福島沖オク、
0:57:14	福島北西沖か。
0:57:16	フジイWの34は、ナカ堂島西方沖なので一応これの北端と南端とか
0:57:24	北端の方は、
0:57:28	そこへフジイW3北端は自社の方が長く聞いてるからまあいいとして、フジイW2の南端の止めと。
0:57:36	フジイW4の北端の止めと。
0:57:39	BWの南端の止めについて、
0:57:42	見直す必要がないかを確認したっていうのが30。
0:57:47	ビジョン
0:57:52	江田。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:59	そうするとあんまり日本海地震津波調査プロジェクトとの関係とアノ側線 1本で断層に自転車と地形です。
0:58:06	あんまり比較するような、
0:58:08	対応がないわけ。
0:58:11	で、
0:58:14	そうするとですねフジイW
0:58:18	IIの南端。
0:58:23	以降は、
0:58:26	李フジイWIIー南端自体わあ、
0:58:30	石油公団の測線、
0:58:33	なのでここは、
0:58:35	何で断層、総合評価プロジェクトとデータとしては同じ。
0:58:42	なのかな。
0:58:45	さらにその先の自社の測線っていうところに差がある。
0:58:49	そういう一体わけですかねこの。
0:58:52	37ページは、
0:58:54	はい。九州電力の徳永です。尾上フジイWにつきましてはまず当社測 線で、アノ断層を認定してございまして、
0:59:02	その先の皆、南側の方で、SN1ー17というところで、これは石油公団の 測線でございますけれどもこれで伏在断層というふうに認定をしてござ います。
0:59:14	さらにその先の当社の測線No.19で、その先に、断層が認められないと いうことで当社の測線で止めを行っているということでござい
0:59:24	以上でございます。
0:59:27	はい。
0:59:28	と言うことですねはいなので、ここはだからフジイW IIは、
0:59:33	ちょっと、
0:59:34	どういう認定の仕方をするかっていう考え方も見間違うのかもしれない ですけど、
0:59:39	総合評価プロジェクトの方では少なくとも、おそらく同じデータなんで、
0:59:44	石油公団のSsーN1の17の測線で、
0:59:51	伏在断層っていうのは、お互いが多分それは見間違えずにお互いが認 識しているだろうと。
0:59:57	そっからどこで止めるかという、自社は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:00	当社測線があるんでそこで止めれていますと、多分止めてその間までを多分伸ばしてるってということだと思っすけど。はい。そういうことですね。はい。
1:00:09	江田。今度、
1:00:11	フジイW
1:00:13	3-4、
1:00:19	これについては、
1:00:21	フジイWの4は、
1:00:26	A、
1:00:29	累積フジイに、ナンバー23 測線、ちょっと待つてよ。
1:00:39	うん。
1:00:40	21
1:00:43	止めてこれは当時の評価なんで、
1:00:46	2322 で断層を認定して、
1:00:51	21 で止めましたと。
1:01:01	倉庫、これは、
1:01:03	こっちは、
1:01:05	請求、こっちは請求口座の測線関係ない。
1:01:09	ですね。はい。
1:01:11	で、
1:01:14	これ一、すいません、39 ページのところなんですけどね。
1:01:21	これなんかは池井湾の、
1:01:25	日本海地震津波調査プロジェクトのこの測線、
1:01:29	何か正確な移動経路が、
1:01:32	これは最近
1:01:33	座標が公表されてないんですけどもしかしたらちょっと違う場所が違うかもしれないと書いてあるんですけど、
1:01:40	これ一応、もともとのうんNo.21 って、
1:01:46	一応何か
1:01:48	延長線上にないかな。ナンバー20、23 で認めているフジイ4 の、
1:01:54	何か延長線上にないようなところちょっと断層はあります。
1:02:01	タナカ別物です。
1:02:03	という説明になっていて、
1:02:06	それは、このYKワンの方、
1:02:09	ではどういうふう、そんな同じ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:12	延長線上はここでおそらくここで、この延長線上にはないっていうのは、それぞれ何かそういうのを確認できたりしてるんです。
1:02:20	ちょっとなんか座標が公表されていないと言われると若干ずれそうな気もするんですけど、とはいえ、
1:02:25	その座標は公表されていないことによって、ちょっとずれるかもしれないけど、
1:02:30	っていう、それによって、
1:02:32	そこまではわかりませんかとかとはいえ、同じく、
1:02:37	延長でこれを見ても延長線上にはないといえるということなのか。
1:02:42	そこがねわかんないんですよ。何か近くに測線があつて、我が社と近いところの測線ですとしか言ってなくて、
1:02:49	YKはの測線を見て、
1:02:52	ビデオ見てですね。
1:02:54	これもこの図しか、
1:02:56	公表されていないんですかねなんかデータベース化とかされて公表されてたりはしないのかなこれは、
1:03:04	そこら辺関係がよくわからなくてですね、これナンバー22の測線と同じようなロジックで、この相手はあの説明
1:03:13	仕事支援ができていいのかそれはできないのかというところ。
1:03:18	はどうですかね。
1:03:21	九州電力の徳永です。まず、每期市のデータ等の公開がされているかという件ですが、一応確認はしているんですけど、データ等の公開はなく、
1:03:33	ですね報告書に記載されている図面があるというようなものになってございます。
1:03:40	で、一応そのトレースの引き方につきましては報告書にあった、緯度経度を拡大させて、当社の図面の方に落とし込んだりしているということでこの青いラインを引いているものなんですけど
1:03:53	正確な
1:03:55	データの落とし込みにはなってございませんので多少、
1:03:58	異なる場合があるというふうに記載をさせていただきます。
1:04:01	ただ39ページの右側に図面を上下で、ナンバー21とYK1をつけてございますけれども、概ね大体近い値で測線は走っているんだろうということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:15	比較するとくぼみ地形を両方とらえているところがあるかと思います。そういう意味ではこのくぼみ地形は大体同じようなところを見ているんだろうというふうに我々は判断してございまして、
1:04:28	そこでくぼみのところの基盤のところでは引いている断層と同じようなところも、当然地震検査が今回、認定をされているということでそこに相違はないだろうということを考えてございまして。
1:04:42	で、フジイWの延長につきましてはさらにその西側の方になるんだろうと思ってはいるんですけどもそこを正確にこの辺だというふうに絵を落とすのが今座標ところ、信頼度がそこまで高くない。
1:04:55	ありませんので、日落としきれなかったというようなのが実情でございまして。以上でございまして。
1:05:11	どうする。
1:05:14	うん。
1:05:16	いや、ヤタなんかこれ、矢印、YK1 のところって矢印が二つあるじゃないですか。
1:05:24	ここは何か断層の位置ですとかって言ってる。
1:05:26	一応、このプロジェクトで断層個ありますと言ってるわけです
1:05:31	うん。それが、御社でいうところのこの連続性の断層を認定としたこれとほぼほぼ同じ。
1:05:39	ものなんだと。
1:05:42	考えられますよと言っているのか。
1:05:45	今日、
1:05:45	いやこれってフジイW4 の延長部かもしれないなかったら、
1:05:49	たまたまこのNo.21 九州電力の測線では、フジイW4 の延長部の断層が見つからなかった
1:05:57	もう、
1:05:57	YK1 のプロジェクトの方の、
1:06:01	掲示の測線では、延長部の断層がこの2本見つかったじゃないです。
1:06:06	見つかったんじゃないんですかと聞かれたときに、
1:06:08	そんなこと減るんでしょうかっていうことなんですけど。
1:06:13	九州電力の徳永です。38 ページに、ナンバー23、一番変位が大きいF GWの変位が大きいナンバー23 の測線をつけてございまして、
1:06:25	その北側、ナンバー22 が、その辺、クボ道系の西側の方に同じような断層形態が見られましてその延長先がないということでNo. 21 をつけていると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:37	いうものでございます。で、先ほど眼正確に落としきれないというふうにご説明差し上げたんですけれども、この先っていうのは、クボ道系の西側の基盤がフラットに
1:06:50	水平のところには挿すところろうになってございますので、少しアバウトにはなるかと思っておりますけれども、渡島大臣研さんの西側の方の先に、
1:07:02	府地へ基盤が水平となっているところら辺にフジイWの延長がくるだろうということでそこには断層が認定されていないということはいえるかと思っております。以上でございます。
1:07:18	はい。なんで、一応御社としても、このFGWの延長部、
1:07:24	2、
1:07:25	実このYK1の小断層認定とかって二つ書いてあるのは、これフジイRW4の延長部では、
1:07:33	北側の延長部では、
1:07:34	ありませんというのは、今言ったようなことをもって、
1:07:38	一応確認してるわけですね。
1:07:40	例えばちゃんと多分それをないと、
1:07:43	いや同じようなところの測線はとっていて、
1:07:47	いやだから我が社の測線だけ見てくださいって言われてもですね、片方の方に断層位置とかってもう矢印までついていると。
1:07:56	これって、御社でいうところの、フジイW4とかフジイW3の延長とかにならないんですか大丈夫です。
1:08:02	いうふうになるわけですよ。
1:08:04	そこをさらにどこまで延ばすか。
1:08:06	海底地形で、どこまで伸ばすかっていうのから考え方が違う。
1:08:12	はい。ちょっとそこがね何か抜けてんだよ
1:08:16	あともう一つ、わあ、
1:08:19	えっと、
1:08:20	次が南端かな。
1:08:22	二つあるのか。
1:08:23	南端についてはですよ。フジイWの南端については、
1:08:29	ナンバー24、
1:08:33	止めました。なんでナンバー23と20の間まで伸ばしています。
1:08:41	なんですけど、
1:08:43	これ、
1:08:45	わかんないんですけど、36ページとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:51	んの。
1:08:52	見ると大分港南ミナミがあって、
1:08:59	違うわけですね。
1:09:01	これ南側の止めて、いやこれは正確に何か長さとかを見て、申し上げたわけじゃないんですけど、40 ページですね。
1:09:10	これで、どこだこれ石油公団の測線がその下にありますよね。
1:09:15	多分FGダブルさんって、
1:09:18	これナンバー24 のところでもあれは、実は断層として認定していて、
1:09:23	その下の行横に走ってる。
1:09:26	石油公団のこれNo.7 測線、
1:09:30	で、
1:09:31	止めていて、このNo. 24 等石油公団の直線ちょっとあの、
1:09:36	この斜めに、
1:09:37	角度を持って、
1:09:39	その間でAフジW3ーミナミカワを多分止めてるんですかね。
1:09:44	御社の測線大戸国井。
1:09:47	使っ
1:09:48	ていないんだとすると、
1:09:50	このフジFTWもんじゃないや。
1:09:54	フジWの南端止めというよりはですね。
1:09:58	これだから第1ゴトウ田井断層体の日、南側の止めて、
1:10:04	石油公団の
1:10:06	黒線が、これ、
1:10:08	直交してるのかな。
1:10:10	直工とかちょっと角度を持ってますけど、左下に本ありますよね。
1:10:15	あそこまで、あそこで止めてあそこまで伸ばしてるから、
1:10:19	33 ページの、
1:10:22	何か違いがあるのか。
1:10:24	何となく中道理事西方沖断層群の、
1:10:30	フジW3 の方ですかねに相当するミナミ橋と、
1:10:34	中尾線の位置関係と、40 ページの、何かこの辺の位置関係を見ると、何となくそんな気もするんですけど。
1:10:42	そこはよくわからない。
1:10:43	ですかね判然としないんです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:45	はい。九州電力の徳永です。このす南側の甲斐石油公団の側線なんですけども今鈴木さんをご指摘いただいた通り我々も、
1:10:55	そうじゃなかろうかと推察はできるんです。視察はしてしてるところではあるんですけども明確にそれを、報告書等で、
1:11:04	ここの測線で止めたとかいう記載が、はっきり書かれていませんでしたのでそこまでは、ちょっと明言をしていないという状態でございますただこれSN1-18という測線我々も持っておりますので、
1:11:17	そこではない、なかったというふうに考えてございます。以上でござい。
1:11:23	はい。何かね。
1:11:29	日本、高総合評価プロジェクトとか日本海、
1:11:32	津波調査プロジェクトかな、
1:11:35	日本海津波調査プロジェクト総合評価プロジェクトか、総合評価プロジェクトの方が一応石油公団、
1:11:40	この測線を使って、あとは断層認定したら、そのどこまでつなげるかは、海底地形図を基にしましたと言っているときに、
1:11:54	何。
1:11:55	断層南端違いを、このフジイW4の北端と南端の止めの。
1:12:01	違い。
1:12:02	です。
1:12:03	そこに何か決めつけて、確認をしまっていていいものなのかなというのがあってですね。
1:12:10	いやFGWさんもしかしたら南端の考え方の、
1:12:14	違いかもしれないし、今ウエダでフジイW4の北端とFDWの何段。
1:12:21	この違いが何なのかといて、
1:12:23	確認してます。
1:12:24	こういうフジイW3の、
1:12:28	南端のが当然南側ね、
1:12:30	伸びるわけで、
1:12:32	そっちの方の、
1:12:34	企画というか確認というのは、何となく今話を聞くやうに思えてですけど。
1:12:40	うん。ちょっと何か南端声フジイW4で、何かの差分をですね、そこだけで何かとって良いものなのかなというので、ちょっと説明が欠けてんじゃないかと思った次第なんですけど。
1:12:54	ここら辺は、だってフジイW4を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:57	の南端。
1:12:59	側で差分が生じているともう断定はできないわけです。
1:13:03	で、カドイってフジイW3 の難度よね相当するもの。
1:13:08	ナカ南端の評価が差分だとも言い切れないわけで、
1:13:12	どっちかわからないというような状況のような気もするんですけど。
1:13:15	この辺はいかがですかね。
1:13:17	はい。九州電力の徳永です。36 ページに記載をしておりますけれども今回地震本部が引いた断層トレースベースは、JAMSTECの断層トレースだろうというふうに考えているんですけどもそれに対応するのが、フジイW12 と、
1:13:33	当社のですね、4 になるだろうというふうに考えてます。で、今回地震本部がこの断層の評価をするときに、傾斜方向としては南東傾斜高角ということで東側落ちの断層を認定していると。
1:13:48	ということでそれはフジイW124 とも整合的というふうに考えてございます。一方、このフジイW3 につきましては、西落ちの断層ということで、
1:13:59	これは地震本部の三田断層とは性状がちょっと少し違くとトレースも少し離れているということで、我々が認定している断層と、対応しているのはこの 4、4 の方だろうという、概念がありまして、
1:14:14	フジイW4 の北と南の止めの確認をという、資料の統制をしております。ただその、藤江藤、当然フジイWさんのの南側のSs-N1 の 18 だったと思うんですけど、石油公団の測線は当然見てございますので、
1:14:31	そこでも、その先にはないというのも確認をしております。以上でございます。
1:14:40	あれ、今言ったヒガシ。
1:14:42	越智。
1:14:44	というのはこれワー総合評価プロジェクトの方にも書いてある話。
1:14:50	九州電力の徳永です。地震本部の方に、34 ページのですね、
1:14:55	地震本部による評価というので四角の表に記載、はい。これですね、ここには書いてあると。
1:15:03	あとはトレースの位置が、フジイW、
1:15:06	3 の間ではなくてフジイweオガワに、
1:15:09	増えて書いてあるんで、
1:15:11	うん。なるほど、なんかあんまりフジイwさんの南端というよりは、
1:15:17	地形で、
1:15:20	地形とあとは自社の測線がないから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:24	すぐ間瀬もしかしたら石油公団の測線自社測線がないんでNo. 24。
1:15:30	だから、石油公団のところってというのはそういうことですかね。はい。
1:15:35	そういうことですか。
1:15:40	だとすると、どういう説明になるんだ。ちょっと待って。
1:15:45	ヒガシを認定し、
1:15:48	地震本部、
1:15:59	ああ、そうすると、
1:16:02	36 ページで 34。
1:16:06	ページを、
1:16:08	使いながら、
1:16:14	どこを止めの評価を確認してあげればいいかを、
1:16:18	36 ページで特定しているのか。
1:16:21	金。
1:16:22	この説明で、
1:16:25	東沖野湾Ⅱの認定して、
1:16:34	だからここにあるし、地震本部 2020 円長さ 70、
1:16:38	3 キロメートル、Dだこれヒガシオオウチの。
1:16:43	断層で評価していて、一方、自社では、
1:16:48	FGWの東大地認定してます。
1:16:53	で、
1:16:55	FTW様が逆のニシウチ側で、
1:16:59	いうふうんで長さに差異が、
1:17:06	と、今ご説明あったようなこと長々、どこまで書くかはあるんですけど、ちょっとここでフジイW3の波があまり関係ないんですよっていうのは、
1:17:17	何かわかるような記載になって、
1:17:20	いいですかね。
1:17:22	何に着目して、確認してあげればいいかっていうときに、
1:17:27	この①36 ページでいうマルチ、
1:17:30	②③④というんすかね。ええ。
1:17:33	102039
1:17:36	の、この確認でいいんですという説明になる。
1:17:39	もらいたくてですね。
1:17:42	はい。フジイW案があまり関係ないよというのは見ればわかるんですけど、この藤田瓜生さんは何なんだっていうふうにならないようにしてもらいたいっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:52	はい。
1:17:53	これよろしいですか。
1:17:56	いたしました。
1:18:00	はい。
1:18:01	阿藤、これ多分改めて測線を見ん図を見て確認する話ではないと思うんですけどちょっとこの、
1:18:12	どこに行けばいいんだ、ちょっと待ってくださいね。
1:18:14	例えばちょっと例えばさあ違うな。
1:18:17	どうしようかな。さあ、
1:18:21	33 ページ見るかな。一応この
1:18:24	御社は一応宇久島。
1:18:27	北西沖断層群と言われるものと一応は、中澤理事西方沖断層群とって、間はありませんというか、
1:18:34	もしかして細かい傷あるのかもしれないけど、ここに一応断層群というものは引かなくていいですよと。
1:18:39	してるわけですよ。
1:18:40	第1号と、ただ一方で推本の方は、
1:18:46	ここ、北部中部南部って分けてるのはこれは推本
1:18:51	なんですかねそれとも。
1:18:53	断層総合評価プロセスの方でも何か北部中部南部で分けてんでしたっけこれ。
1:18:58	はい。九州電力の徳永です。区間分けされているのは地震本部のみでございまして、JAMSTECアノ断層総合情報プロジェクトの方では区間分けはなされていません。
1:19:10	わかりました。
1:19:13	そうすると、薄手
1:19:17	くわですよ。
1:19:18	御社で御社は一応空白というのは変かも。
1:19:23	ここには断層群、長いものはなかろうとしている区間で、一応そこまで、
1:19:29	聞いているわけですよ。
1:19:32	それは何だという、
1:19:34	何を言ってるかっていうと、いや御社間断層ありませんよって言うところに、今回この新しい二つのプロジェクトとか、或いは、
1:19:42	その新しい測線データが、
1:19:45	一応今のところ見ると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:48	ここは幸いにしてある、ないのかな、ないのかな。
1:19:52	そこに何か新しく断層を認定しなくていいんですかそこはいららないんですっていうところの説明は、どうされてるのかなと。
1:20:00	お伺いしたいんですけど。
1:20:03	いやそれぞれのいいですよ。推本で言うゴトウ大ダイイチゴトウ田井断層体の、
1:20:11	北部と言われているものの、南端。
1:20:14	だとか、或いはその断層体の南部と言われているものの北端の説明は機器。
1:20:21	一応、多田清本郷中部区間というものを設けて一応断層、
1:20:25	置いてるわけですよ。
1:20:27	そのことについてここに置かなくていいかというのは、
1:20:31	一応北部区間と南部区間の北端、南端北端が止めましたからってというのはちょっとそれとは、
1:20:39	また別の話なんで、
1:20:41	この中部区間、推本で言う中華御社でいうそこにはありませんと言われてるところに、
1:20:47	断層がないという評価は変わりませんよってというのは、
1:20:51	それは何をもって、
1:20:55	確認できるんですかね。ちょっとそこを教えてください。
1:21:19	うん。何でそうなんかNo. 20 測線の話が全然出てこないんですけどね。
1:21:47	いやいや、もうちょっと具体的に言いましょうか。なんで、
1:21:51	断層総合評価プロジェクトとか新しく日本海地震津波調査プロジェクトというのは、御社でいうところの活断層がない状況かというところの中部区間のところに、
1:22:03	何か何かの測線で、
1:22:06	明確な、こことここには断層がある、こことこことここに断層があるみたいな、断層認定ってどっかで、
1:22:13	されされてるんですけど、それとも、
1:22:16	ここはですね、地形の連続で間が繋がってるだけで、特にこの間の区間で断層認定、
1:22:22	されていないという話。
1:22:25	ですかね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:26	はい。九州電力の徳永です。今回地震本部さんがベースとしている3、土佐ミイ我々も含めまして3プロジェクトの分なんですけど、
1:22:37	JAMSTECの方は石油公団の測線を見ただろうということでSN1-17を見た上でそれを上アノ北と南の
1:22:47	石油公団の測線に沿って、海底地形に沿って施栓を引いたということで、
1:22:55	この間の中に、新しく何か断層を認定した測線があるとか、いうものはないというふうに考えてございます。以上でございます。
1:23:09	はい。
1:23:10	ありました。なんで、
1:23:12	もう1個の日本海地震何とかプロジェクトの方は、
1:23:16	これは先ほどの当時あった通り、IK-1で断層認定して、あとは地形で伸ばしたってことなんで、中部区間と言われてるところに何か、
1:23:26	断層を認定してるわけでもないわけですね。
1:23:30	一方、御社は、
1:23:32	これはだからNoってなって、
1:23:34	バー。
1:23:36	20、
1:23:39	そうかなあ。No.19で、1個上の断層止めて下はナンバーの21で止めて、その間、ナンバー20のところでのこの間に断層がないのか。
1:23:49	してますと。
1:23:51	ということですか。
1:23:52	うん。
1:23:54	する等、
1:23:57	どうすればいいんだ
1:24:01	水温が北部中部南部と開けていて、御社が何だっけ、
1:24:07	また名前がすぐ出てこない、宇久島北西沖。
1:24:11	中部はなし。
1:24:12	に、南部が、
1:24:13	中通り西方沖断層群、
1:24:16	ということなんです。藤。
1:24:18	推本の北部中部南部、
1:24:20	という区分けをしてルウのであれば、磯本社のところ、
1:24:26	宇久島
1:24:27	空白仲通りっていう形で対応、ほぼほぼ対応してるわけですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:31	なのであれば、
1:24:33	北部区間と言われているところについては、
1:24:36	対応する内の段差をこれで、差分はこれで、
1:24:40	変える必要がない。そういう説明ありますよね。中部区間についてはかくかくしかじかで南部監事て書く云々でって言って、
1:24:47	だからこの中部区間と言われているところについて我々断層を置く必要はないんですっていうところも含めて、
1:24:54	うん。
1:24:55	何か説明を。
1:24:56	してもらえないですかねという。
1:24:58	ことなんですけど。
1:25:00	はい。九州電力の徳永です。中部区間も含めまして整理をして、追加をさせていただきたいと思います。
1:25:08	以上でございま
1:25:14	という話なら、何となく、はい。返しました。その上ですよ。
1:25:20	今の説明が一通りあったという前提で、
1:25:30	最後 41 ページのまとめで、
1:25:34	から北部区間についてはFGWアノ南端。
1:25:38	かくかくしかじか。
1:25:40	南部区間については②なのかな。FGWの北端と南端で、
1:25:46	各云々、余りに丸さんか。
1:25:50	あと中部間の話を出してもらえれば、話としては繋がるのかな。はい。
1:25:56	その上で最後のですね、まとめが、
1:26:01	42 ページで、
1:26:03	これわあ、先ほどの
1:26:07	何だ、オノゴシマとか、
1:26:10	違って、ここを何か使用した音波探査記録の情報量の違いだけです。以上ですって。
1:26:16	いうのをちょっとどうですかね言い過ぎな気も。
1:26:19	したんですけど、そもそもちょっとその地形、
1:26:22	海底地形につなげますっていうその考え方。
1:26:26	この違いっていうのは何か入っておらんですかね。
1:26:31	今までの説明聞くとその音波探査記録の情報量の違いもちろん流量の違いもちろんあるんです。9 電独自測線があるかないかっていう、
1:26:40	そこはもうもちろんあるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:41	ただその測線に通路をある程度踏まえて、断層の連続性を、海底地形図で判断するっていうやり方をとった。
1:26:50	これ、長期評価というそのもとになった文科省のプロジェクトとの、
1:26:55	考え方の違いっていうのは、
1:26:59	個々の断層長さの差異というところには入ってこないんですけど。
1:27:04	だけの説明だと何かそこも入ってきてるような気もするんですけど、あくまでデータ量の違いですって。
1:27:12	はい。九州電力の徳田です。鈴木さんのご指摘の通りでございまして、その考え方の違いも入っているというふうに理解をしておりますので、
1:27:22	記載を改めたいと思います。よろしくお願いします。
1:27:27	いや、何か根本の考え方に少し違いがあるそうですね、何て言ったらいいんだよね。仮にじゃ、これ多分、
1:27:35	特にこのプロジェクトデータしかプロジェクトを見ると、もう他に、民間企業D測線データを持ってるところが、
1:27:43	あればですねそういうところからデータをもらって何か追加していくってことも課題ですよというのは何か毎年の、
1:27:49	報告書見るとちょこちょこ書いてあるんですけど、
1:27:52	多分具体的に御社にその測線データをくださいとか、いわゆるデータ提供対応してくださいとか多分そういう、
1:27:59	足っての多分、
1:28:01	出たら多分御社も認識してるはずなんで、多分ないんじゃないかなと思う。
1:28:05	そうするとじゃあ仮にそういうふうにデータをもらったとして、彼らがこの部分の、
1:28:11	アノ断層、
1:28:13	会田アリマ線とかって区切って評価するかとか端部見直すかっていうと、
1:28:18	多分そこは根本の考えとして、海底地形でつなげますって考えが違うんだったら、多分、御社のデータを追加したからといって、
1:28:26	評価を変えるかどうかそれわかりませんよ。
1:28:29	わからない。ただ、本当に変わるのかどうかっていうと、多分そうじゃない気もするわけです。
1:28:34	そうすると何かデータ量の違いです。彼らもこの我が社と同じデータがあれば、別の判断をしたはずですよってのはちょっと言い過ぎと読めるような記載をするのは言い過ぎっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:45	強いですので、はい。ちょっと違いがもう少し、
1:28:49	あくまでです。測線密度を踏まえてのことだと思いますけどね、断層の連続性は海底地形図で判断する。
1:28:55	元になったもんかプロジェクト
1:28:57	考え方の違いです。
1:28:59	でもあるんだったらそこも書いてもいい。
1:29:02	それ多分、
1:29:03	41 ページとか他のところに出てくる、42 ページ他のページも出てくるかもしれないですけどね。はい。
1:29:10	終わりました。
1:29:14	うん。何かこの説明はすみません、長くなりましたけど、
1:29:17	何か
1:29:20	はい。
1:29:23	あと、書いてもらう必要ないですけど
1:29:26	途中でできた西山断層台東警護断層体で、
1:29:30	これ今回の長期評価だ、だって一応参考で情報載ってますけど、何か注意書きのように、
1:29:36	石山断層体とかこれもしかしたら
1:29:40	何だっけ、何断層だったっけ。
1:29:43	海側の隣の断層と、何か繋がるかもしれませんとか、
1:29:48	あとはその警護断層の方も、一部の、今回、
1:29:52	おろしかな。
1:29:54	一部としているところ等、
1:29:57	何か区分けの仕方がちょっと重なってる場所、変わるかもしれませんが、一応、注意書きがあるじゃないですか。
1:30:03	ああいうものは、当然ながら今後、今後もそこは注視して、情報収集してやっていきますっていう、
1:30:12	そういうことで、
1:30:13	別にここに何かそこまで書けというので、今回多分日本海南西部の海域活断層長評価の説明なんでトゥーマッチですけど、
1:30:21	一応そういうところも含めてみては、多分西山断層体はもうすでにつなげちゃってる気もするんです
1:30:27	というようなところも当然確認されてるわけで、
1:30:31	今後、その情報収集とか知見収集の網かけてのはちゃんとできていますかっていう趣旨

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:30:37	は大丈夫です。
1:30:39	九州電力の徳永です。アノと、地震本部の記載で今後の調査研究によつては西山断層と沖野シマ金海断層、あと警護断層とオノシマ金海断層が一連の断層体と評価、
1:30:50	菅隣地の連動する可能性があるかもしれないという記載があることも、我々認識をしてございまして今後も注視していくというふうにしてござい ます。西山断層体は先ほど鈴木さんからご指摘があった通り、
1:31:02	もうすでに、西山アオキのシマ金海断層は西山断層体の一部として評価をしているというところでございます。以上でございます。
1:31:14	はい、わかりました。仲卸島近海とその繋がって長大断層になるというよりは何か茂呂島近海の東の端っこ
1:31:24	と、
1:31:25	何か警護断層、同じ区間というか多分、ちょっとそこら辺はわからないですけどね、この記載、超過の記載だと。
1:31:32	いずれにしてもちょっとここは今、の扱いとしてはそれぞれ別物というのが、推本の扱いなんで、ここは注視していくというの はわかり
1:31:41	はい。
1:31:43	それですね。
1:31:45	最後ちょっと細かいかな 44 ページで一応結論としては活断層評価変えませんが、
1:31:51	結論でフローとしては③で終わりましたが一応結論だけですね。
1:31:55	あとハザード評価のところなんですけど、
1:31:58	どれだ。ハザード評価だから、地震強化津波評価への影響の二つ目のポツかな。
1:32:05	活断層評価を見直す必要ないんでは評価益ありませんでその次で、
1:32:11	ハザード評価については、まず、そもそも、断層評価が変わらない、変われば、それによってハザード評価のインプットになる個々のその断層で、影響が出ますけどそれはまずない。
1:32:24	あとは活動度で、
1:32:27	0 地震本部 2022 で示された西武区域におけるって、
1:32:32	多分ここ初出になる。
1:32:34	ね。
1:32:39	いやほら何か区分けがあって、玄海はその西部区域に該当しますって いう説明は、
1:32:46	多分ここが何か初出のような気もするんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:50	ですとですね、多分4ページのところまずニワ西部って書いてあるんですけど、
1:32:55	これから初めて公表した。
1:32:59	玄海はこの整備。
1:33:00	この西部区域は限界に相当するなど、玄海はこの西部区域の範囲に相当しますという、
1:33:06	のがあった上で、
1:33:08	ここでセーブ区域ってそのまま使うんだと思うんで細かいですけどね。
1:33:12	はい。で、これ一応確認ですけど、多分長清川三谷大丈夫と思うんですけど、海域活断層の活動度括弧BからC級って言ってるのは、
1:33:21	これB級のものもありC級のものもあるって意味ではなくて、
1:33:25	Aとす。
1:33:28	BからC級ってその個別の断層に、確か評価してるんですよこれ。
1:33:34	いや、なぜかというとならB級のものもありC級のものもありって意味でBからC級だと。
1:33:40	もしあれ津波ハザードのところで、A級の下限からC級の上限としていると。
1:33:45	中身B級のこの断層はB級ですと、助教が評価してるものがあれば、ちょっと活動度は変わってきますよね。
1:33:53	多分、この断層についてB級らしいQだったら断定してなくて、B級からC級っていうのを、
1:34:02	この断層に入れてるんだと思う。
1:34:04	江端臼田っていうか、あと、
1:34:06	西部区域における活動度BからC級って言ってるのは多分活動度を評価できるものについてはBからC級ってされているっていう意味でいいですか。これ、
1:34:18	はい。九州電力の村上です。
1:34:20	まず、この表、
1:34:22	元、西部区域という言葉をつけ加えた、我々の趣旨としましては、
1:34:27	最初で整備区域というふうに断りを入れているものの、
1:34:33	今回評価されている、東部とか中部、それぞれの区域で見ると、AからB級とかという、
1:34:40	区域もあるので、一応、念のため注意書きとして記載していると
1:34:45	BからC9というところにつきましては、整備区域のすべて、今回評価されているすべての

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:53	活断層について、BからC級と、
1:34:55	いう活動で記載がされており
1:34:58	以上です。
1:35:00	はい、わかりました。それは、
1:35:03	都丸代表の方ですかね推本とああそうか私は本文の方の西部区域を 見ているから、
1:35:10	そうか、書いてある、本文の方の 37 ページぐらいから西部区域っての が出ていて、
1:35:17	ナカ白鳥沖
1:35:19	沖野島近海、31 番卸の近海っていうのを見ていくと、
1:35:23	その本文中にBからCって書いてあるものと、何かBからCとは書いてない ものがあったんで、
1:35:30	そういう評価なんかの方で何か綺麗にまとまって入って全部BからCっ ていうふうに、
1:35:36	あれでしたっけ、書いているのかな表、長期評価上で、
1:35:39	はい、九州電力の村上です。
1:35:42	56 ページの方に表 5 として、はい、わかりました。はいさせていただきます。 これはこれでいいわけですね。はい。
1:35:58	そう。
1:36:01	なんかね、
1:36:03	いいですそれもいいと思ったんですけど。
1:36:06	唐突に、
1:36:08	長期評価
1:36:10	そうそういう意味でいうと、
1:36:14	長期評価の概要と課長強化の説明の中に何か一切出てきてないのに いきなり、
1:36:19	この最後のハザード評価の影響のところで、
1:36:22	実はみたいな形で、実はこんなことも書いてありましたっていうふうに出 てくるので、
1:36:27	何だろうねえ、どう。
1:36:31	うん。
1:36:33	うん。
1:36:37	かな、それか長期評価の概要とかんところ 2、この方から当然、
1:36:44	活動度だったり、何だか
1:36:48	平均変位速度とか、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:51	かくかくしかじかこういうところもあってそこでは活動度はBからCとされているとか、
1:36:57	長期評価の詳細な情報をね大量に付け加えていくと。
1:37:01	きりがいいんですけど、
1:37:03	こういうのは何かハザード評価とか、自社の評価との影響確認で関係してくるようなところで、
1:37:09	状況でこんなこと言われてますよっていうのは、
1:37:12	どっかに入れてもいいというのはその通りですね。
1:37:16	うん。
1:37:19	はい。九州電力の村上です。今ご指摘いただいた点については資料のほうを充実させたいと思います。以上です。
1:37:26	はい。
1:37:27	なんていうかそんな詳細な情報まで言えないですけど、ポアソン
1:37:32	とか何かね。
1:37:33	計算方法ポアソンで何か 30 年確率出しますとか、そんなの。
1:37:38	そこまでは要らないと思うんで。
1:37:40	ジミツの表かな。
1:37:42	例えば、56 ページの表なんかすべてをこう書くとかですね、そういう目線ところまでは多分いらない。
1:37:49	はい。
1:37:54	それで一応いずれもBからCという扱いなんで、
1:37:58	それはB級或いはAからCの間監視員上限って言ってるのとは、
1:38:03	ほぼ同じ、
1:38:05	でしょうと。
1:38:06	ということで影響はありませんということではわかります
1:38:10	あと 46、5 ページからか、ここがですね一応③でフローは終わりましたと言いつつ、
1:38:19	何か影響確認実施したとってちょっと確認をする理由とか目的、
1:38:26	なぜこの確認をするんだっていう話とか、或いは
1:38:30	これを比較することに何を示したいんだっていうのが、
1:38:35	何か何はとりあえず参考と書いていけばいいだろうという形になってるんですけど。
1:38:40	もっとここは、
1:38:41	活断層評価でも一応やろうとしてる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:45	行為は、仮に④番、フローの④番に行ったらどうなのかと2点やってこと 同じなわけですよ。
1:38:51	だけど、あくまで地震動評価津波評価、火山評価見直さないわけだから、 本来やらなくていい。
1:38:59	けれども一応参考でやってみたというこの目的、理由は何でしょうかと いうところなんですけど。
1:39:06	そこワー
1:39:08	別に消せと言ったわけじゃなくて、別にやったこと自体は結構だし、
1:39:12	これによって何か、
1:39:15	示せるのでしょうかけれども、
1:39:17	ちょっとそれがないままに下にとりあえず参考だと言ってついていると、 これは何でしょうかというふう
1:39:23	九州電力の徳永です。今鈴木さんが、ご指摘があった通り活断層評価 を見直す必要はないと判断してございますのでそもそもやる必要はない という位置付けではあるんですけども、
1:39:35	さはさりながら、今回地震本部と当社の評価で断層の3人、評価に差 があるということで、
1:39:45	大きな見立てとしており、大きく三つの断層で対馬ヒガシ水道とオノシマ 金海断層、それと第1ゴトウたいということで、
1:39:54	津島ヒガシ水道と、
1:39:58	卸金海断層、これについては当社も同じ範囲に断層認定をしている間、 長さが若干違うもしくはセグメントが違う程度ということで、
1:40:07	仮にそれを見、地震本部を取り込んだとって、影響はないだろうというこ と、それと第1ゴトウ体についても長さが違いますけれども、かなり敷地 から距離も離れていると、津波につきましても、地形諸障害とかもあつ て、影響もないというのは、
1:40:22	あらかじめ定性的にわかっているんですけども、それを参考的に、定 量的にですね、やったという目的の位置付けとしてございます。以上で ございます。
1:40:35	はい。はい。その一つの理由はわかるんですけど、五つ51ページが特 に52ページで、
1:40:43	ここその津島南西沖断層群とこう連動パターンのもを持ち出して比較 されてるわけですよ。
1:40:52	ですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:54	いやこのところの比較の趣旨なんですけどね。ちょっと長期評価の方も、私、
1:41:00	1回見てみると、
1:41:01	確かに第1ゴトウ対談相対町教科上は区間を北部中部南部って分けて一応それぞれ別々の、
1:41:09	地震規模だし、
1:41:12	つつですね。
1:41:13	その上で、評価単位区間が連動する可能性を否定できない中で連動を、そのときの地震規模みたいな形で、
1:41:21	ちょっと個別個別で出しつつちょっと連動の可能性も否定し切れないんでここはつなげた連動の場合の多分地震規模を出して、
1:41:28	それによって多分今後それをもとに、あれかな、被害地震予測とか多分津波予測みたいなことを、
1:41:35	つなげていく、御社でいうところの地震動評価津波評価の、
1:41:39	等に相当するようなものをですね、やる時に使ってくということだと思っ
1:41:43	なので、
1:41:45	ここで言う北部中部南部間連動させたこの第1ゴトウ大南総代と、
1:41:49	この北部区間に相当する、
1:41:52	がナカ。
1:41:53	福島沖北西断層群とそのさらに北にある敷地に近い側にある津島南西沖断層、
1:41:59	これと連動させた我が社と、
1:42:02	その限界という最初にとって、どちらの方が影響が大きいのかを、なんか52ページとかさらに津波の方とかで、
1:42:09	比べてるのかなあと。
1:42:11	いうふうにも見たんですけど、ちょっとそこら辺の関係もですねよくわからなかった。
1:42:16	で、
1:42:16	もしもう少し
1:42:19	ここであえて、あえてですね、念のため地震動評価津波評価を参考であったっていう目的趣旨でさらにこういう、
1:42:28	ノロシマは、紀北東部の断層群、さらには、
1:42:33	部分的にかぶってる警護断層と比較したわけですよ。
1:42:36	2バーを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:38	あえてもう第 1 ゴトウ体に関して言えば、
1:42:41	01 個別のところにある対馬南西沖断層群とのこの福島の連動との比較をしてるわけですね。
1:42:48	これ、これと、これらの比較をしている意味は何ですかということも含めて、少し比較の目的とか、
1:42:56	参考評価の目的があるようなことを冒頭に書いた上でですね。
1:43:00	入って、ないと。
1:43:03	何か比較されて
1:43:05	これをもとに、
1:43:09	いうのがわからんのですけどわからんのですけどっていうか何回か聞いて私はわかるつもりでいるんで、
1:43:18	これを、
1:43:20	この資料を見て、パッと、
1:43:22	見て、
1:43:23	説明を聞いた人間がわかるかと。
1:43:27	あれな、これどういう目的で何を示したくてこの比較をしてるんだらうなというのがわからないので、
1:43:32	そこら辺は書いてもらいます。
1:43:37	九州電力の徳永です。今、ご指摘があった通り、当社は玄海サイトにとって一番厳しくなるような、保守的な設定をして、基準地震動基準津波を策定していると。
1:43:51	ということでそれと今回出された地震本部の部分が今後将来、行政機関、いろいろ自治体等の防災計画等にも反映されていくかも可能性があるということで、
1:44:02	そこら辺の対比を見ながらと、我々の設定は玄海にとって、地震本部が今回設定した地震動、次、活断層評価、
1:44:12	を踏まえても、より厳しく設定できているんだというのがわかるように、目的等もは、
1:44:18	明確にした上で資料の記載を充実したいと思います。以上でございます。
1:44:25	はい。お願いします。
1:44:27	なので多分そうしていくと、
1:44:29	51 ページとか 52 ページで、
1:44:31	何かこう、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:33	壱岐北東部断層群とかけ 5 断層大分参考※3、一応参考でって書きつつ、
1:44:39	ただ上に書いてあるところには、
1:44:42	何も書いてないわけですよこれ。
1:44:45	参考比較としたこれ何すかね。当然ながら壱岐北東部断層群がちょっと長くなるんで、それより大きくなるとはいえ、結局サイトとの影響でいうと、
1:44:55	基本 5 断層体の一部にこの卸近海断層体の一部は御社でいうと、警護断層体に、
1:45:02	一部含めて、
1:45:03	それとの比較でいっても、
1:45:05	長周期側は、これは警護断層がちょっと大きくてこれ、
1:45:10	JUKIO.5 秒よりも短周期がこれ重なってるのか、ほぼ、
1:45:15	これ。
1:45:18	卸金貨側の細かい点線なんで、一番細いんでほとんど見えないんですけど、これ、
1:45:25	周期 0.5 分より短周期があってこれわあ、
1:45:29	城山南重なってんじゃなくて、これ、警護断層に重なっちゃってるんですかね。
1:45:36	すいません九州電力の赤、
1:45:39	九州電力のアカシでございませう今お尋ねのところのオノシマはこれ規模と重なってます。
1:45:47	城山田重なってんじゃなくて、
1:45:50	ちょっとここすいません、例えば 51 ページに、家事域北東部を載せた理由、52 ページに連動低圧載せた理由これは、
1:46:01	ちょっとこれまでのヒアリングの中でまず、
1:46:04	オノシマについてはそもそもちょっと上山に間かなり近い近づいた評価になってるので、でもともとのその選定の考え方に照らして、検討用地震の選定の、
1:46:16	考え方に照らしてどうなのかというようなやりとりがあったので、当初これ敬語をも、
1:46:24	或いは 50 ページの西山の評価であると同じように、上山に迫ってるんだけど、距離が遠いし、破壊の方向性が違うので選ばないと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:35	いう考え方をして、敬語もそれと同様の考え方で落ちてて、オノシマはそれよりもほぼ同等でちょっとちっちゃいのでオノシマも当然選びませんよと。
1:46:45	ということがわかるように、ということでちょっとこの家 5、参考までに北東部も入れてたと。で、
1:46:56	要は相場感がわかるようにということでつけたもので、一方 52 ページ。
1:47:04	第 1 号等についてはどうするのって言ったら、これ例えば重なってるのは福嶋なんですけどこれ、50 ページご覧いただいてわかる通り、宇久島自体は検討自身の土俵に上がってませんので、
1:47:19	相場感として示せるものがないなどしようということ、これ、参考として既許可の時のまとめ資料でもつけておりましたこの連動のパターンが近いちゃ近いのでちょっとそれを参考としてつけたというまででした。
1:47:34	で、ここもう何が言いたいかという、検討用地震の選定用は竹木場城山を越えるもんじゃありません検討用地震として選ぶもんじゃありませんと、ということが、
1:47:44	言えればいいのでここまでしなきゃいけなかったかというところは、確かにちょっとあるとは思いますが。
1:47:51	ちょっと参考とは言いながらもちょっと相場感として示せるようなものをつけ過ぎたかなとは思いますが、ちょっと意図としては今ちょっと私がお話したような意図でございます
1:48:04	すいません参考でつけ過ぎと言ってるつもりはないんですけど、
1:48:09	みたいなどころ全部とつばらって、何か図だけ載せときゃいいだろうっていう形で持ってるので、
1:48:15	なんで 51 ページの趣旨は、だから、
1:48:20	警護断層、
1:48:21	一部含んでる警護断層と同程度で、
1:48:25	あって、ということで、
1:48:29	パケコガれる人作必要はない。
1:48:35	ね。
1:48:36	なお、警護断層と同程度であってそのけが断層ってのはかくかくしかじかで、こういうことから、
1:48:42	この同タイプのもは、
1:48:44	各云々でこれ検討自身選んでないんで、
1:48:46	だからこれも検討実施。
1:48:48	やるべきものではないんですけどいう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:51	そういう、
1:48:52	説明文がつくと、この 51 ページの図に、警護断層と壱岐北東部が載って、
1:48:58	もう参考で載っけていて参考で比較しているんだなというのがわかるわけです。
1:49:03	52 ページもしかりなんですけど、
1:49:06	うん、ちょっとその言われたからのセット。
1:49:08	いや相場感もちろん重要なんですよ。
1:49:11	ちょっと迫ってるんだけどこれ選ばなくていいのかなってならないように総合化係載せるのはいいんですけど、だったらちゃんとその説明も含めて書いておかないと。
1:49:21	これなんか比較して何なんか何も書いてんけどこれ比較載せて参考ってことで何を言いたいんだっていうふうになるし、
1:49:29	あとは
1:49:30	津波の方もですね。
1:49:34	津波の方は、これは最後こっちもどうなんですかね。
1:49:38	当然簡易予測アベのカイインアベの式かなあかん予測だと当然倍半分なんで、
1:49:45	推定津波高さ卸金海断層も、簡易予測上はそれなりの数字が、
1:49:52	出るわけですけど、
1:49:54	これワー
1:49:58	うーん。
1:50:01	コールシマ金海断層とか第 1 ゴトウ代の最後パラスタやった後の比較ですよ。
1:50:07	これは内部基準津波と比較している。
1:50:13	ということなんですかね、それともその卸近海断層体って言ってみれば、
1:50:19	次のページで言うところの 1 とした西山断層体の、
1:50:23	同じような位置にある同じような断層ですよ。
1:50:26	そのミヤマ断層体のシミュレーション結果との比較、或いは
1:50:31	第 1 号の断層体であれば、
1:50:35	その対馬南西沖断層群と福島の変動、
1:50:41	の水位上昇が下降側との比較で感度を見ているのか、それともこの最終基準津波の最終結果との比較で、
1:50:49	影響がないよねっていうふうに見ているのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:50:54	これはどっちですかね。
1:50:59	九州電力の徳永です。資料に甲斐記載している 57 ページのところにつきましては、ところ何が言いたいかというと基準津波の範囲内ということで比較対象は基準津波として見てございます。
1:51:15	で、58 ページを付けた趣旨はですね、56 ページに、シミュレーションをやりますということで上縁部下サーを設定するときに、
1:51:25	パラストした場合のチャンピオンになったやつは、2.5 キロの上縁深さを設定をするということをもともと考えてございまして、58 ページで一連の今までの既許可の分とのパラスターをすべて並べた上でも、
1:51:40	チャンピオンになるのは、西山と対馬区の連動ということで、上縁深さ 2.5 キロの数値シミュレーションは不要ということ判断したものとこの 58 ページを並びに許可の、
1:51:52	パラスターケースをつけているというものでございまして、この実際にオノシマと第 1 号等につきましては、基準津波と比較していると。
1:52:02	いうことでございます。以上でございます。
1:52:12	はい。ここも
1:52:15	やっぱり、特にですけども、同じその連動の範囲が違うこの第 1 ゴトウたいと。
1:52:21	津島南西沖福島北西沖の連動ですよ。
1:52:26	これは
1:52:27	連動のさせ方が、もし、我が社の方が敷地に対して厳しい。
1:52:32	この連動のさせ方をしてますっていう、そういう比較の仕方ではなくて、
1:52:36	あくまで基準津波の推移。
1:52:39	との比較で、
1:52:40	これやっているということですかね今の話だとか、
1:52:44	その上でですね。
1:52:46	50、
1:52:48	6 ページんとこちょっと何か変えたって言ってたのかな、これ一部貸しついて今上縁深さのところ、③の、
1:52:56	増員深さをわかりやすく、
1:52:58	違反したということで強化ケースを含めて最大になった場合には、
1:53:04	これ、前回どう変えたんでしたっけ。ちょっと待ってください。前回資料。
1:53:13	いやそう単純にこれながら既許可のと、以下の許可のものと同じやり方です以上という。
1:53:23	何かこう、これって許可とちょっと違うやり方をやろうとしてるのか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:28	ていうと多分そうではないんだと思うんですけど。
1:53:32	ここはちょっと根本域というか、これもともとうなったんでしょってね。
1:53:38	そうか。
1:53:47	前回の資料につきましては、上縁深さ 0 キロメートルを基本として、パラメータスタディの最大ケースになったものについて 2.5 キロというのでこの最大ケースが何を対象に、
1:53:59	何が分母にいて、
1:54:01	最大になっているかっていうのがわかりづらいということ等もありましたので、分母の対象は既許可の詳細パラメータスタディも含めたすべてぐらい今回の地震法も含めたすべてですよと。
1:54:13	いう表現に、56 ページを記載をしているというものでございます。
1:54:21	ですねえ。どうしたらいいんだなあ。
1:54:30	今回ナカ 58 ページをつけたわけですよ。
1:54:34	なのでそれであればさ、別に。
1:54:39	なんていうか 33 ページは、
1:54:41	あえて、
1:54:43	評価からいじる必要が逆に、
1:54:46	なくなるんじゃないかというんですけど。
1:54:49	いや、三次元もと、33 ページ後も前回の多分ヒアリング理由 33 ページかな。
1:54:56	今回で言うと 56 ページですよ。
1:54:59	この同じやり方をやって、
1:55:02	58 ページが
1:55:04	で、この許可で 2.5 や、
1:55:07	2.5 キロのケースだったのはこれ多分、
1:55:10	水、
1:55:11	上昇側で最大になったのか木暮さんになったこの赤枠囲ってですね。
1:55:16	これが最大なんでこれのみ、2.5 黒をやりましてって、これを上書きするようなものでないので、
1:55:26	56 ページで言うところの補助前回のヒアリングで言うところの 33 ページの、
1:55:33	パラスタ最大ケースにて 2.5、2.5 キロ実施。
1:55:37	最大ケースに該当しないんで、2.5 キロは当然やる必要がないんですけどって話だと思うので、
1:55:44	うん、58 ページがちゃんとつくのであれば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:47	何ていうかあえてこの 56 ページの記載を、許可のところから、開発は逆がないんじゃないですかというそういう、
1:55:57	何か今回独自のものでもない。
1:55:59	ね。うん。許可と全く同じ方法でやったんです。
1:56:04	そうすると、この最大ケースに該当しないで、当然理事動けばやってくれないですよ。
1:56:10	それはまあ、
1:56:11	許可と同じやり方ですからねっていう
1:56:15	はい。
1:56:18	58 ページがつくならば、
1:56:22	はい。
1:56:24	ちょっと最後、もう 1 回そのさっきの 57 ページのところですけど、一応ここは、
1:56:29	考えとしては
1:56:31	それぞれ近接するとか何か比較。
1:56:35	下ろし間であればもしかしたら何か同じようなセンスである。
1:56:39	石山との比較とか或いは、
1:56:42	第 1 ゴトウ代であれば、結局、同じようなセンスで、より敷地に近い側に連動させる。
1:56:48	津島とか奥山の連動とかとの比較ということではなくてこれはもうあくまでダイレクトに基準、
1:56:54	との比較ということがそこでいいんですかね、これは。
1:56:59	九州電力の徳永です。今、都築さんがご指摘あった通り、ダイレクトに基準津波と見ているというものでございます。
1:57:11	はい。ちょっとそういうところも含めて、ここの 0 観光比較っていうのは何を目的にしていますかっていうところにも繋がってくる。
1:57:19	で、
1:57:20	はい。そこわあ、最後に、
1:57:22	何と比較して、仮に、
1:57:25	長期評価の活断層長さ 1 とかをもってしても影響が基準値の基準進度に影響がないっていうのは、
1:57:32	はい。
1:57:33	何をってそう言っているのかっていうところは
1:57:37	目的とか趣旨次第。
1:57:39	ここはちゃんと充実させてくださいということで、はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:43	すいませんちょっと大分、
1:57:47	玄海の方だけでかかってしまったとかありますかね。
1:57:50	大丈夫ですかね。
1:57:52	じゃあ、ちょっと手短にすみません、仙台の方もお願いしませう説明。
1:58:10	はい。九州電力のムラカミ
1:58:12	それでは、
1:58:14	資料番号、DTSの 37。
1:58:17	に基づきまして、川内原子力発電所への長期評価第二版の影響について、
1:58:22	前回ヒアリングからの変更点を中心に説明させていただきます。
1:58:27	2 ページをお願いします。
1:58:29	資料構成における、前回からの変更点としまして、参考 1 として、第 2 版と許可時の確率論的津波ハザード評価との比較を追加してください。
1:58:41	3 ページをお願いします。ここから長期評価第二版の概要につ
1:58:46	で 4 ページをお願いします
1:58:48	4 ページ、5 ページに、第 2 版の記載を買い、
1:58:52	第 2 版の概要を記載しておりますが、
1:58:54	4 ページに変更はございませんが、前回のヒアリングを踏まえ、5 ページ、
1:58:59	の記載の中で、被害地震が変更されている旨、
1:59:03	の文言を追加してください
1:59:06	6 ページをお願いします
1:59:10	ここから既許可評価への営業確認。
1:59:14	法制について、
1:59:16	記載しておりますが、こちらのページに大まかな流れを追記しております。
1:59:21	既許可評価における地震及び津波評価におきましては、日向灘及び南西諸島海溝周辺の、
1:59:29	地震を考慮した上で、基準地震動及び基準津波を策定しており、
1:59:34	地震動評価では、諸般の内容を知見として確認はしておりますが、A をはしてございません。
1:59:41	一方、津波評価に当たりましては、評価内容の一部を引用し、評価を行ってござい

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:47	従いまして、今回の評価、影響評価におきましては、既許可評価において考慮した内容を示した上で、一つ目として、既許可にて初版を引用したもののについては、
1:59:59	その内容を明確にした上で、第2版による影響を確認
2:00:03	二つ目はBとして、以外の項目については、初版から変更されている、評価対象領域など、
2:00:11	その関連する内容についても、その影響を確認す
2:00:14	いうこととしてごさい。
2:00:17	7ページをお願いします。
2:00:20	こちらのページは、前回からの追加になり、
2:00:24	日向灘及び南西諸島海溝周辺につきましては、既許可では、南海トラフ、琉球海溝における地震動として評価をしており、
2:00:32	基準地震動、
2:00:34	Ss1及び免震構造施設設計用基準地震動Ss-Nの各フローを左側に
2:00:41	関連する具体的な評価内容を右側に記載しており、
2:00:46	評価時の地震動評価では、日向灘を含む南海トラフ及び南西諸島海溝について、
2:00:52	気象庁カタログ等を用いて、
2:00:54	周辺、
2:00:55	の被害地震を整理してプレート管理
2:00:58	及び海洋プレート内地震の最大規模の地震は、
2:01:02	1の影響を及ぼす支援の5弱程度以上と想定されないということを確認してごさい
2:01:09	その結果、敷地周辺の内陸地殻内地震の評価に基づき、基準地震動S
2:01:14	を策定しており、
2:01:16	また、免震構造施設設計用基準地震動Ss-Nの評価では、
2:01:21	長周期の地震動が卓越する可能性のあるし
2:01:24	及び4、
2:01:25	市、その検討結果をもとにSsLを策定してごさいま
2:01:31	8ページをお願いし
2:01:33	こちらには、A、
2:01:35	7ページでの既許可評価の評価。
2:01:39	らいを踏まえ、
2:01:40	許可図の地震動評価に対する、第2版の強化
2:01:44	方針について記載しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:46	前回のヒアリング、資料では、結局評価との関連や、今回確認すべき点に、わかりにくい点がございましたので、記載の適正化を図ってごさい
2:01:56	まず、既許可の基準地震動評価では、気象庁カタログ等を用いて
2:02:02	周辺の被害地震を整理しており、
2:02:04	その整理過程において、諸般の被害地震が気象庁カタログ等に包含されていることオカ
2:02:10	で、
2:02:11	いるため、初版は引用してごさい
2:02:14	第2班につきましては、初版から被害地震が変更されておりますので、この変更に対して、
2:02:20	既許可評価への影響を確認す
2:02:25	次に、既許可の電線構造施設設計用基準地震動評価ですが、
2:02:30	長周期の地震動が卓越する震源及び要因の検討として、ライン会トラフや
2:02:35	琉球海溝による、
2:02:37	M9クラスのプレート間地震を評価し、震源パラメーターとしては、内閣府ごとに設定しておりますので、初版は引用してござ
2:02:46	第2版では、地震規模が皆をされて、
2:02:49	おりますので、この見直しに対する長周期体の地震動評価への影響を確認しており、
2:02:56	なお、南海トラフや琉球海溝につきましては、評価対象領域の変更もなされておりますが、
2:03:02	いずれも敷地から遠く離れる方向への拡大であるため、その影響の確認は不要と判断してござ
2:03:11	9ページをおね
2:03:13	こちらのページも前回からの追加となり、
2:03:20	地震動評価と同様に、日向灘及び南西諸島海溝周辺
2:03:24	における、帰郷風の津波評価については、
2:03:27	左側に評価フロー
2:03:29	右側に評価内容といった形で整理をしており、
2:03:34	許可時の、ツナ
2:03:36	評価では、日向灘を含む南海トラフ及び琉球海溝
2:03:39	で、
2:03:40	内閣府において、南海トラフでは、最大クラスの津波波源、
2:03:45	Mw9.1が設定されていること。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:48	審査ガイドにおいて、津波波源の領域は、南海トラフから琉球海溝まで含めた領域が対象と記載されている。
2:03:56	また、すべての沈み込み体でM9 クラスの地震が発生しているとの知見がある子
2:04:01	これらを踏まえ、
2:04:02	超巨大地震の記録がある。
2:04:04	世界の沈み
2:04:05	込み体において、地震との関連性が高い。
2:04:09	プレート境界面の固着域に着目した分析を行い、
2:04:13	その分析結果に基づき、南海トラフから琉球海溝において、
2:04:18	不確かさを考慮した津波波源を設定し、津波水位を評価してごさい。
2:04:25	さらに、2011
2:04:26	東北地方太平洋沖大指
2:04:30	津波の教訓を踏まえ、
2:04:32	現在の知識データがすべてとはせず、安全意識として、これを越えることが起こり得るとの観点で津波は
2:04:40	しサービスインを評価しております。
2:04:44	10 ページ。
2:04:45	をお願いし、
2:04:47	こちらには、
2:04:49	9 ページでの内容を踏まえ、駅数の津波評価に対する、
2:04:53	第 2 版の営業確認方針について記載しており、
2:04:57	前回のヒアリング資料から、
2:05:00	一部記載の見直しを行っておりますが、諸般の引用先について、
2:05:04	第 2 版の評価内容オカ
2:05:06	イシイ影響確認を行う。
2:05:08	評価対象領域や地震規模の見直しに対する影響確認を行うといった、大きな方針に変更がごさい
2:05:16	11 ページをお願い
2:05:19	12 ページから 16 ページには、初版からの変更で
2:05:23	で、
2:05:23	評価対象領域等について整理をしております、
2:05:27	こちらにつきましては、前回ヒアリングからの変更はごさい
2:05:34	17 ページをお願いし
2:05:37	たら、地震動評価への内容についてご説明いた

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:42	まずは、被害地震の変更に対する影響
2:05:46	18 ページをお願い
2:05:49	こちら、前回ヒアリングからの変更ありませんが、許可評価において、
2:05:53	プレート間地震及び海洋プレート内地震の最大規模の地震は、
2:05:58	震度 5 弱程度以上とは推定されないことから、敷地への影響がないと いうことを書く
2:06:03	ており、
2:06:05	19 ページをお願いし
2:06:08	19 ページ 20 ページには、前回ヒアリングでも主
2:06:12	だった江田日本第 2 班における日帰り
2:06:16	する。
2:06:16	影響について確認。
2:06:18	結果を示してございます。
2:06:20	20 ページをお願いします。
2:06:22	前回ヒアリングを踏まえ、既許可評価のフローと確認のフローに合わせ るよう、記載を見直してございま
2:06:30	まず既許可評価で確認しておりました、規模の大きな地震である、ナン バー1 の、
2:06:35	1662 年、日向大隅の地震と、No.10 の 1909 年、
2:06:42	宮崎県西部の地震について影響がないことを書く
2:06:46	ており、
2:06:47	また、その他の地震についても影響がないことを確認する旨の記載も 行ってございます。
2:06:54	21 ページをお願い
2:06:57	次に、地震規模の見直しによる長周期体の地震動評価への影響
2:07:03	22 ページをお願い
2:07:05	22 ページ 23 ページには、前回ヒアリングでもお示しました、南海トラ フ及び琉球海溝を対象とした地震動評価への影響について示してござ い
2:07:16	いずれも既許可評価にテライハマダ希望。
2:07:19	考慮し、
2:07:20	から、影響はないということを確認しても、
2:07:24	24 ページをお願いし
2:07:26	ここから津波評価への影響、
2:07:30	でございます。まずは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:33	評価評価において、初版を引用した箇所に対する影響確認です。
2:07:38	25 ページをお願い
2:07:41	こちらには、地震履歴に対する影響の確認結果を示しておりますが、前回ヒアリングからの変更はなく、既許可評価への影響がないことを確認してください
2:07:51	26 ページをお願いし、
2:07:54	こちら、海溝軸の設定に対する確認結果となりますが、こちらも前回ヒアリングからの変更はなく、
2:08:01	起業家評価への影響がないことを確認してください
2:08:06	27 ページをお願い
2:08:09	次に、評価対象領域及び地震規模の見直しに対する影響は、
2:08:15	28 ページには、
2:08:17	28 ページをお願いします。こちらには、南海トラフを対象とした
2:08:22	今日確認結果を示しておりますが、
2:08:24	こちらも前回ヒアリングからの変更はなく、
2:08:27	評価への影響がないことを確認してください
2:08:31	29 ページをお願い
2:08:35	29 ページから 31 ページには、琉球海溝を対象とした津波評価への影響確認結果を示しておりますが、
2:08:42	こちらも、前回ヒアリングからの変更はなく、既許可評価への影響がないことを確認しており、
2:08:49	32 ページをお願いします。これまでのまとめとなり、
2:08:56	33 ページをお願い
2:08:59	今回地震本部の長期評価第二版について、既許可評価時の評価の流れに沿って、
2:09:05	四つ目として、
2:09:07	1 カセにおいて初版大井
2:09:08	引用した箇所の影響か
2:09:10	Bとして、
2:09:11	初版からの主な変更点に対する影響か
2:09:14	ない。
2:09:15	既許可での地震動評価及び津波評価の
2:09:19	中にも、
2:09:19	しており、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:09:21	地震動評価につきましては、既許可評価においては、初版を引用して いないことオカ
2:09:26	で、
2:09:27	初版からの、
2:09:28	主変更点に対して、強化
2:09:31	しても、
2:09:33	具体的には、第2版で変更、被害地震が変更されたことを踏まえ、
2:09:38	同様に、MΔを用いて、
2:09:41	が、
2:09:42	プレート間、プレート内地震が、
2:09:45	影響を及ぼさず、
2:09:47	同様に
2:09:48	いうことを確認して、
2:09:51	第2版で受診規模が見直された
2:09:54	名前。
2:09:55	許可の南海トラフ
2:09:56	及び琉球海溝
2:09:58	ね。
2:09:59	社長上回る規模を考慮
2:10:01	をとか、
2:10:02	ほかに。
2:10:04	後藤加来
2:10:05	折田
2:10:08	確率論的地震ハザード評価への影響については、既許可評価では、敷 地に影響の大きい内陸地殻内時
2:10:16	地震を対象としておりますので影響はございません。
2:10:20	次に、津波評価についてですが、
2:10:23	結局評価にて、初版を引用した場所については、第2版による影響は ございま
2:10:29	南海トラフ琉球海溝における自主
2:10:32	につきましては、大伴にて変更拡大された評価対象領域についても、既許 可で、
2:10:37	考慮済みの範囲であることから、影響がないということを確認しており、
2:10:42	確率論的津波ハザード評価への影響につきましては、既許可時に、評 価

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:47	した発生頻度は、
2:10:48	地震本部が、
2:10:50	初版及び第 2 版で採用している。
2:10:53	から影響はございません。
2:10:55	以上より、今回地震本部が公表した長期評価に対する仙台営業所
2:11:00	そういうの評価評価への影響はないということを確認してください
2:11:05	34 ページをお願いします
2:11:10	前回のヒアリングを踏まえまして、確率論的津波ハザード評価に対する補足という趣旨で、参考 1 を追加してください
2:11:19	参考 1 ではまず、第 2 版における将来発生する地震の評価の概要と、既許可評価時のハザードの考え方を整理した上で、
2:11:28	第 2 版と結局評価の比較を行い、
2:11:31	その算定方法との違いについて整理しておりますので、
2:11:35	この内容について、次ページ以降にてご説明。
2:11:39	35 ページをお願いします
2:11:43	まず第 2 版における将来発生する地震の評価に
2:11:46	が、
2:11:47	第 2 版では、再編した評価対象受振別に、初版と同様、
2:11:52	長期時、長期的な地震発生確率の評価手法、
2:11:56	に基づき、地震発生つが算定
2:11:58	ており、
2:12:00	算定に当たりましては、本評価で対象としたいずれの領域でも、
2:12:04	ほぼ同一の震源域
2:12:07	で大事
2:12:08	は知られていないため、
2:12:09	再編した地震の発生領域及び震源域
2:12:13	一帯で加古野末
2:12:14	から発生頻度を求めている領域について、
2:12:17	ポアソン仮定を用いて、
2:12:21	と記載が、
2:12:23	地震本部の資料から抜粋した表を、
2:12:26	35 ページには掲載しておりますが、
2:12:29	許可時の確率論的
2:12:31	ハザードで考慮した、琉球海溝北部及び重要なプレート、
2:12:35	は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:36	表左。
2:12:37	悪い。
2:12:38	都丸。
2:12:39	に対応しており
2:12:42	36 ページをお願いし、
2:12:46	こちらには、既許可における確率論的津波ハザード評価について示して おりまして、
2:12:52	36 ページを、次のページ
2:12:55	に、既許可評価におけるロジックツリーを掲載しており
2:13:00	津波ハザード評価におきまして、想定する津波としては、津波ハザード 曲線への寄与度が高い津波として、プレート間地震に伴う
2:13:09	海域活断層による地殻内地震に伴う
2:13:13	これらを選定しており、
2:13:14	決定論評価において考慮した津波波源の不確かさを、
2:13:18	考慮して、ロジック
2:13:20	を作成しており、
2:13:23	このうち、プレート間地震に伴う津波の検討対象地震としては、琉球海 溝北部及び琉球海溝中部を対象に、
2:13:32	検討対象地震として、x地震を超えない規模、最大Mw8、
2:13:37	9 は
2:13:38	歴史地震を超える規模の地震もそう。
2:13:41	をしてござい
2:13:43	8000 変動につきましては、
2:13:45	歴史地震を超えない規模については、琉球海溝北部及び中部の
2:13:49	どこでも発生するものとし、その発生頻度は、
2:13:53	評価対象となる規模の時
2:13:55	した場合においても、
2:13:57	過去の地震活動から、
2:13:59	JRC
2:14:01	に基づき設定をしてござい
2:14:04	育種受振を超える規模につきましては、琉球回国
2:14:08	から中部におけるプレートの沈み速度、
2:14:11	から、年間ひずみ量を、
2:14:14	年間 6 センチから年間 2 センチの位置を分布として設定し、滑り量から 佐口

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:19	しても、
2:14:21	38 ページをお願い
2:14:25	こちらには、発生頻度に関する第 2 版と許可評価の比較を、
2:14:29	表として整理しております。
2:14:32	第 2 版では、発生領域及び震源域の形態を特定し、特定した地震の過去の発生履歴から発生頻度を算定しているのに対し、
2:14:41	既許可評価では、
2:14:43	歴史地震を超えない規模については、発生領域や受振器を特定していないこと。
2:14:48	これを踏まえた発生頻度は、
2:14:50	GR式により算定をしております
2:14:53	また、歴史地震を超える規模については、過去の発生が知られていないことから、プレートの沈み込み速度より算定しており、
2:15:01	地震本部とは異なる手法を用いているということを確認してください
2:15:08	39 ページをおね
2:15:11	参考に、
2:15:13	2 としまして、産総研から公表されております。
2:15:17	沼尾三崎沖海底地質について、
2:15:19	整理を
2:15:21	前回のヒアリング、
2:15:23	での議論を踏まえ、記載の適正化を図っておりますので、その
2:15:27	中でも、
2:15:28	40 ページ、
2:15:30	示す地質図については、変更はございま
2:15:34	41 ページをお願い
2:15:37	こちらも前回ヒアリングにて、
2:15:39	しておりますが、表下段に断層の認定に関する内容を追加してござ
2:15:45	い産総研では、
2:15:47	後期更新世以降に活動している断層と、それ以外の断層と、
2:15:52	区別し、図示がなされて、
2:15:57	42 ページをお願いし
2:16:00	こちらも前回ヒアリングにてお示しておりますが、
2:16:04	オカ評価では、産総研の測線に加え、
2:16:07	より密な間隔で高分解能な、独自の音波探査を、
2:16:14	行いまして活断層評価を実施してござ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:19	43 ページ、尾根が
2:16:22	こちら前回ヒアリングにてお示しておりますが、
2:16:25	機構評価における敷地前面海域の断層分布図に、
2:16:29	産総研に記載された断層分布をトレースした。
2:16:34	産総研には、先ほど申し上げました通り、後期更新世以降に活動している断層と、
2:16:40	それ以外の断層
2:16:42	種類の断層が示されて、
2:16:44	は、
2:16:45	川内原子力発電所の敷地前面海域において示されている断層がすべて②、
2:16:52	それ以外の断層
2:16:53	となって、
2:16:55	このため、この図に示す産総研の断層は、
2:16:59	シマ評価における断層
2:17:02	及び、黒瀬
2:17:03	宗です。
2:17:04	倉井断層
2:17:05	に対応する
2:17:07	いうふうに考えてください
2:17:09	断層分布に差異はありますけれども、
2:17:12	キホドウ申し上げました通り、当社は、産総研が使用した
2:17:17	また
2:17:18	加え、
2:17:19	久慈
2:17:20	音波探査記録等を追加し、
2:17:24	評価を実施しているため、
2:17:26	評価に影響はないもの
2:17:28	というふうに判断をしてください
2:17:30	説明は以上で
2:17:35	はい、どうもありがとうございます。はい。
2:17:38	すると、
2:17:45	こちらの長期評価は、どっちか 5 ページか。
2:17:52	今回のだから変更点範囲の変更拡大、人規模の見直し、あとは比嘉、これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:00	長期評価でも被害地震と書いてアリマ主な地震と書いたりしますけどい わゆる被害地震の、
2:18:06	コミヤシマ 3 点あります。
2:18:09	その 3 点があるんでそれを一応許可の評価で初版を、
2:18:15	引用しているかいないかっていうところに分けつつ、一応この三つの観 点で、
2:18:20	確認をしていきますと。
2:18:22	いう
2:18:24	そうですね。
2:18:26	そうする等、
2:18:30	何でそうするとこの方針 8 ページとか 10 ページが方針になるんですか ねえ。
2:18:38	その被害地震の更新地震規模の方針、評価対象範囲の見直しという 3 点があるわけですよ。
2:18:44	それぞれがどうなるかという、
2:18:49	ねこの 8 ページとか 10 ページのところ、何かあんまり
2:18:53	巨影響確認方針と言いつつ、
2:18:56	影響を
2:18:58	確認しか書いてなくて、
2:19:00	どういう観点で、
2:19:03	影響を確認するのかが一あんまりはっきり書いてないですよ。
2:19:10	例えば 8 ページのものも、第 2 版の初版から比嘉理事が変更されてい ることを踏まえ、
2:19:16	影響の、
2:19:18	プレート間近いプレゼン地震の許可評価への影響確認っていうと、
2:19:24	ここは、
2:19:26	引き続き、
2:19:28	深度 510 だったかな、あれ敷地に及ぼす。
2:19:33	地震では、
2:19:38	新ではないことを確認なのかな。で、
2:19:42	次は、ちょっと言い方はあるかもしれんすけど、
2:19:45	次は小地震規模を見直されたことを踏まえていて、
2:19:49	これが地震規模、これわあ、
2:19:52	南海トラフと比較するっていうか一応当該領域なんか日向灘領域なの かな、琉球海溝のところで見てもこれ、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:01	日向灘領域か。
2:20:04	前のページで見ると、
2:20:06	7ページのこれ琉球海溝の方もこれ、琉球海溝の、
2:20:11	日向灘領域で話し合ってるのかな。
2:20:14	なんですけど、これはだから日向灘領域、それぞれの日向灘領域の、 に設定したMwと、
2:20:22	今回の長期評価の地震規模等、
2:20:28	どちらが埋まるか。
2:20:31	地震規模、許可の評価の地震規模を見直す必要がないことを確認する っちゃうことなんで、
2:20:37	ここだと、
2:20:38	いや、今日、矢印を引いて影響を確認しますって言って、そのどういう、 何を確認しに行くかは後を見て詳細見ていかないとわからないってなっ てるんで、
2:20:49	もし、この影響確認ってのは何を確認しに行くのか、何を比較するの かっていうのを端的にわかるように書けませんかってそれだけなんですけ ど。
2:21:01	何か7ページ琉球海溝あってんのかな、ちょっと今、
2:21:05	ふと見て気になってしまった、これ悠久。
2:21:08	開口のうち、
2:21:10	日向灘であってんだ。
2:21:13	あってるのかな、これ。
2:21:15	23ページを見ると、琉球海溝北部のセグメントが8.8であって、
2:21:22	昼間等ではないような気もしますが、
2:21:25	うん。
2:21:26	7ページに日向灘領域で8.8って書いてあるんですよこれ。
2:21:31	九州電力の盛でございます。ご指摘の通りで、7ページの琉球海溝の ところは琉球海溝北部が適切な表現です。こちら記載の適正化のほうを 行いたいと思います。
2:21:42	8ページの方は、ご認識、先ほどご説明いただいた通り、被害地震につ きましては、後ろのページの方で、今回第2版の経へと被害地震の変 更を踏まえましても、
2:21:54	解雇。
2:21:56	プレート間地震及び海洋プレート内地震。
2:21:58	が評価同様に、震度5弱程度以上と。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:02	ならない、ならずに評価評価に影響がないということを確認してごさいます。
2:22:07	琉球海溝と南海トラフにつきましては、それぞれの領域で
2:22:12	中間の領域ですとか、
2:22:14	敷地に近いところですねその領域において、地震規模が今回改定されました地震規模のM8を上回ることをですね、確認してごさいますので、
2:22:25	そういうですね、確認の方針をですねこちらのページにちょっと記載の方、検討したいと思います。
2:22:30	以上です。
2:22:40	はい。
2:22:41	ました。
2:22:43	その上で、やっぱ気になった8ページの下がここ※次。
2:22:49	米印か、これは、
2:22:52	んです。さっきだと領域の変更被害地震の整理新規模の変更ってなつてて、
2:22:57	何かここで、
2:22:58	多分これ以上ページをふやしたくなかったのか。
2:23:01	領域の変更についてはっていう形で、※で書いてるんですけど、
2:23:09	この辺がちょっと何か、
2:23:12	ねえ、影響の確認を不要と判断。
2:23:18	地震規模これは一つのやり方ではあるんで、あんまりそこまでは言いませんけど、1024 っていうと、
2:23:31	これだから別に 1024、
2:23:33	ニワですよ。
2:23:36	取り立てて、
2:23:37	敷地から離れる方向に変わったとこれだって長期評価の変更点の整理ですからね。先代原子力発電所との関係なんていうのは、
2:23:46	書いてないわけですけど。
2:23:47	その敷地から離れる方向にっていうのはさすがにここには、
2:23:52	書けないわけで、
2:23:54	これはやっぱり 1024 を見ながら、
2:23:57	8 の説明とですかね、8 ページ下の説明と米印と 12 時を見比べながら、うん。
2:24:06	多分 1000 台がこの辺だろうから離れてるんだらうなというふうに見てくださいっていうことかもしれないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:13	ちょっとこれは手を抜きすぎかなあと。
2:24:17	ね。
2:24:20	別に丹新居、一戸家1じゃねえや。すいません領域の変更っていうだけだったら、
2:24:27	もう12ページとか、
2:24:31	14ページの像を改めて使って、
2:24:37	敷地から敷地の位置を変えて敷地から離れる方向に、
2:24:41	広がりました0っていうのを、何かわかるようにして、1枚使っている所で説明してしまえばいいだけで、
2:24:48	1214に書いて敷地との関係変えてしまうと、これ長期評価の説明なんでおかしくなってしまうんですけど、
2:24:54	もっとう、所々米印で、
2:24:58	書いてみたりですね。
2:25:01	米印で書いてあるんだけどその説明まだ聞いてないし、
2:25:04	1214を見ても、
2:25:06	市との関係っていうのは増し、当然仙台原発がどこにあるかっちゃうのは当然知ってはいますけど、
2:25:13	中24見ても敷地との関係遠く離れる方向に変わったなんていうのは別に書いてるわけでもない。
2:25:20	これ、
2:25:22	冒頭、
2:25:23	被害地震の情報を、地震規模、
2:25:26	領域の変更、
2:25:28	っていう3点で、
2:25:30	聞く言ってるんだったら、こういう8ページとかですね。
2:25:34	ページの方針とかもちゃんとそれに対応する形にしてもらえませんかという話で、一応10ページの方は、
2:25:41	これワー地震履歴に関する情報の一応被害地震。
2:25:46	位図地震の整理の最初版を引用してましたってことなんで、これも第2版の記載内容を確認し、
2:25:53	評価評価への影響を確認したら、
2:25:55	矢印言いたいのは当たり前のことで、
2:25:57	今後過去の巨大地震、
2:26:01	の追加或いはその変更。
2:26:04	がないかどうかを確認してるんですかねここは。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:08	次は、
2:26:11	海溝軸だからこれか。
2:26:14	うん。
2:26:17	俺は、
2:26:21	触れ、引用しただけだから当然プレート面形状の設定に変更がないかを確認するわけですね。
2:26:28	三つ目はここはまたさっき地震と同じで、
2:26:33	該当セグメントでのその地震規模、
2:26:37	を比較して地震規模の見直しが不要かどうか必要かどうかを確認しますとかそういうこと。
2:26:54	ということで、ちゃんと端的にこの方針のところで何を確認しに行くのかは、
2:27:01	わかるようにした上でですね、そうすると、
2:27:05	細かい中身のところは、早々読み込まなくても、
2:27:10	本社
2:27:12	わかるわけ。
2:27:16	うん。
2:27:19	でですねえ。
2:27:30	そうしていくとですよ。
2:27:40	どこ行った
2:27:46	ところまで、ほとんどこっちはあんまり大きくは変わって、
2:27:50	出ないんで、
2:27:53	この
2:28:25	多分そうすると、
2:28:27	最後のまとめのところも、冒頭あった被害地震の更新、地震規模は領域の変更というところに、
2:28:35	対応する形に変えて、一番重要な地震規模ですけどね。
2:28:40	はい。
2:28:42	サンゴのハザード評価のところなんですけど、
2:28:46	ここもしわからな。
2:28:53	市としては、
2:28:56	そのポアソンでやってるかJ-Rでやっ。
2:28:58	ていうか、
2:29:00	そこの違いがあって使ってないんで、
2:29:04	いいんです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:05	ていう。
2:29:08	それ以上なんですかね。それとも、
2:29:11	一番、こういうときに、アノきして欲しかったのは、
2:29:15	当然、
2:29:17	やり方、確率の出し方が違いましたっていうのは当たり前やね。それはそれで、いやそれはあえてポアソンでやってるようなそんな話じゃなくて、もともと考え方がやり出し方が違うんで、実は影響が、
2:29:29	うん。
2:29:29	影響。
2:29:31	あとは、いやこれももうこれまでのところで出てるんでほぼ変わらないんでしょ。ほぼほぼ自明なんでしょうけど、今回だから地震規模とか新しくこうデータが変わったわけですよ。
2:29:44	それによって例えば歴史地震を超えない規模の地震や歴史地震が新しいものを追加されてMw8.2 超えようなきゃ、そこ見直さなきゃいけない情報がありましたか、差ありませんと。
2:29:56	ただその歴史地震を超える規模の地震で領域ごとに多分設定してます米村ベリ行く
2:30:03	そういう点についても、これ何か見直す必要はありません。あとそのぐらいいなんじゃないですかね。
2:30:09	あんまり一応滑りを滑りとか、こうツリー見ていくと破壊伝播のコールとか、こんなのは別に今回の長期評価に、
2:30:17	出てくるものでもないし、
2:30:19	ひずみ量とかも多分あんまり長期評価で、
2:30:23	長期評価で多分語られてる部分っていうと、ほぼこの多分、地震規模ぐらい。
2:30:28	じゃないかなと思うんですけど。
2:30:30	その地震規模は、自社のももとのロジックツリーを使ってる新規
2:30:34	これに何か影響を与えるものではないっていうところは、
2:30:38	あそこが一番気にするべきところ、そこはもう当然ながら変わりませんよっていう、もう、
2:30:45	ここが最も
2:30:47	はっきりと、
2:30:49	てしまうところなんじゃないかと思う。
2:30:52	38 でいくと、
2:30:56	まさしくその

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:57	Mw8. 巨大地震が発展してですね一回り小さいのは7.
2:31:03	で算定の考え方とか算定方法とか、
2:31:09	もう領域とのとり方を全部まとめているかある程度
2:31:14	区間を区切ったりさらに変動させたり、
2:31:16	とか、
2:31:18	ここら辺はそもそも、
2:31:19	何か根本と、
2:31:22	確率を出し出すときの根本の考え方が違うんで、
2:31:25	取り取り入れようがない部分ですよ。
2:31:27	一方で地震規模については、長期評価で何か、いや、
2:31:32	この領域ではですね、MRここにある8. 幾つを、
2:31:36	それが、
2:31:37	本社で見ている
2:31:39	セグメントでも大きかったじゃこれ見直す必要があるのかっていうのは、決定論の前の方でも含めてですけど、あり得るわけで、
2:31:47	そこが違わないかどうか、もし、そもそもの考え方が、CRとポアソンでやり方が全く違う。
2:31:55	違うんがらもう、
2:31:56	もしかしたらその参照できる情報はないかというふうに、多分地震規模ぐらいで、そこじゃ見直す必要がありませんっていう
2:32:04	そういうことなんじゃないかなと、すみません思ったのですが、
2:32:08	ちょっとそこら辺がね、あんまりこうクリアに出てきてなくて、
2:32:13	何かそもそものやり方の違いを切々とですね、こうだけを、この上てしまっているんで、もちろん、
2:32:20	やり方がこう違うんですよってホシトリを出したりするのはいいんですけど、
2:32:25	もうちょっとその端的に、
2:32:27	取り、もし取り入れるとしたらこういう情報なんだけど、それについて、取り入れるべき情報ではなかった。
2:32:35	コウノ端的に。
2:32:37	しまつて後は参考で、
2:32:40	ね。
2:32:42	ちょっと33 ページが、ほぼ同じ異なることからいけばないっていうと、
2:32:47	そう。
2:32:48	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:50	ていうふうに、しまうと、その方法論、
2:32:53	違いを何かどンドンどンドン突き詰めていくような見方。
2:33:02	はい、わかりました。
2:33:04	いただいたご趣旨、ただ、先ほど鈴木さんからいただいた地震規模の話も当然含まれているところがございますので、そこがきちんとわかるように、
2:33:15	実際に歴史地震を超えない規模として最大Mw8.2を、以下を設定しているんですけども、今回、第2版でも最大でM8.0と、
2:33:25	いうところでそれをアップデートするようなものではないということ、それを決定論上のさ、先ほどの巨大地震の確認のところでも影響がないというふうに整理をしているところとも紐づくところではあるんですけども、
2:33:38	素行を見えるようにしたいと思います。はい。以上で、
2:33:46	すいません九州電力の明石でございますご指摘への回答で今徳永の方から回答したところなんですけど、ちょっとすいません1点、スタンスというか考え方というかちょっと確認させてください。
2:33:58	先ほど来コメントいただいているところ端的にわかるようにと。
2:34:02	ということについて、例えば当社の場合は例えば8ページ、ご覧いただくと、今回の示し方は、まず当社の既許可なりの評価がどうなってる。
2:34:14	ていう流れを追いかけて、そこにいいす。長期評価で引っ張ってたか引っ張ってなかったか。で、引っ張ってたら影響あるかどうかで引っ張ってなくても影響あるかもしれないから見てみると、
2:34:27	要は出発点を当社の評価にして話を展開してます。だからこそちょっとわかりにくいな、わかりにくくなったのかなとちょっと思ってます。
2:34:37	今までのお話をお伺いした私の理解としては出発点はあくまで、第2版、第2版の領域が変わった規模が変わった被害地震が変わった。それが、
2:34:47	それが9電の評価にそもそも関わってるかわかってないっていう評価があって、ルートがあって関わってたら影響あるのなのっていうな順番で、
2:34:57	示していけば担当わかるのかなと。要は、
2:35:01	話の展開の向きが、結果的にちょっと、
2:35:06	逆というかわかりにくくなってたということなのかなというふうになんてちょっと理解。
2:35:11	してるんですけどそこはちょっと、
2:35:15	鈴木さんがご指摘された意図とちょっと私が今受け取ったところと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:19	違ってますでしょうかどうでしょうかという確認がちょっとしたいんですけども。
2:35:24	おっしゃる通りですね、例えば七、八、7 ページで当時の評価それに対して影響確認っていうふうに分けて、
2:35:33	もし、
2:35:34	神野具志堅がもっと広げればですよ。
2:35:38	これやから、7 ページのところでこういう評価内容だったから、こういうことを確認しますよっていう
2:35:45	ぽい左側一緒じゃない。
2:35:48	これしょうがないんですよ7 ページと8 ページをガッチャンコすると8 ページの右側の記載が7 ページに移るんで、
2:35:54	もう文字がちっちゃくてごちゃごちゃになってしまう。
2:35:58	なので、分けざるをえないっていうのは、わかり
2:36:02	は五つ。当然7 ページの説明聞いてから8 ページに行くんですけど、
2:36:07	7 ページで書いてるこの評価内容、
2:36:11	これについて、何が変わらなければいいのか。
2:36:14	何が変わるかわかる必要があるのか、変える必要があるのかわからないのかを確認するかっていうことだけを、
2:36:21	端的に8 ページとかに、
2:36:23	これ。
2:36:24	でいくと多分前のページのあるフレーズを使うんだと思うんです。
2:36:31	マエダからマシン
2:36:34	例えば7 ページだと震源パラメータを、これ多分地震規模等の震源パラメータって、
2:36:40	それに変更がないかどうかで、そういうことでの影響額
2:36:45	被害地震の方であれば、
2:36:48	震度椎野5弱ってダイレクトに書く必要もないかもしれないけど、
2:36:52	少し敷地において震度5弱程度以上と推定。
2:36:56	あれされず、敷地メイク物でないことを確認しに行くんです
2:37:01	対になってるはずなん。
2:37:04	なんですけど、
2:37:06	うん。
2:37:07	前のページの記載があるとするとこの、
2:37:10	影響確認、というと多分こういう影響を確認するんだろうなあと、受け手側が想像しながら、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:17	後の説明を詳細に見ていかなきゃ
2:37:20	ここで端的に何
2:37:23	こういう評価だったから、こういう確認する。
2:37:25	と、この七、八、
2:37:27	90 で、端的に言ってしまうえば、逆に言えばあとは、
2:37:31	細かい説明はもちろん
2:37:32	説明聞くんですけど、
2:37:34	だからもう結論のところに行けばいい。
2:37:37	ほとんど地震規模の大小関係に、
2:37:40	を周知するわけですかねこれ。
2:37:43	そこをもうちょっと所見シャーにサッとどういう確認しに行くのかわかるようにしてくださいってことで何か新しい観点を盛り込んでくるというつもりはない。
2:37:53	九州電力の明石でございまのお話で理解いたしました。
2:37:57	確かに当社の既許可の評価がどうだったこうだったっていうのをある程度丁寧に説明してるつもりなんですけども、であるために、じゃあ見見なきゃいけない確認しなきゃいけない。
2:38:10	いけないところどうなのってのは、まさに端的にわかりにくくなってるのかちょっと単語悪いかもしれませんが、丁寧にやろうとするあまり余計な情報が入って、
2:38:18	整理入ってしまってわからなくなったのかなとも思いますので、
2:38:22	今のお話で理解しましたのでそこをちょっと端的に整理をしたいと思います。
2:38:27	ありがとうございました。
2:38:31	はい。
2:38:32	こっちはねあまり、ほぼ地震規模、
2:38:36	大きなものをついていうところに終始するんで、あんまり中身として
2:38:41	はい。
2:38:43	いいんですけど、あと、
2:38:45	負け0アノ対
2:38:48	つけていただいているこの3争点ですね。
2:38:52	4142 コマ発掘として、
2:38:55	やられているかっていう話なんです。最後のこの、
2:38:59	43 の説明なんですけどね。
2:39:03	算数、一つポツが三つあって、一つ目は産総研の2012では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:39:08	後期更新世、
2:39:10	その他、その他断層 2 種類あります。
2:39:14	このうち、
2:39:16	産総研 2020 て仙台の敷地前面で、
2:39:22	示した。
2:39:25	断層は、
2:39:28	すべて、
2:39:30	後期更新世以降に活動する断層ではない、それ以外の断層です。従って、
2:39:37	丹總經理選任断層は、清岡評価の断層を赤線と、
2:39:41	黒線に、
2:39:43	対応する。
2:39:50	何かこの、すいません説明がぱっとこの文字を読んでですね入ってないんですけど、
2:39:55	1 個 1 個っていうさんすもとも産総研の 2022 では①②がありました。
2:40:03	このうち、
2:40:08	産総研 2020、川内の敷地前面って言ってるのは
2:40:13	43 ページで、一応図で囲ってますよね。産総研 2020 年図の
2:40:22	範囲の中から、
2:40:23	切り取ってきていて、
2:40:36	これ産総研 2022 の中には当然①、②っていうこれ何かわかるように、
2:40:43	区分されて図示され、
2:40:49	元がわからない。
2:40:51	はい。九州電力の徳永です。産総研の図面の方に図示されているのはですね、
2:41:00	後期更新世以降に活動している断層と、只野断層という表現になっております。
2:41:09	で、明確に①とか②とかっていう表現は、なっていないというものでございます。ここで、
2:41:16	ちょっと鈴木さんの疑問の部分、
2:41:20	なんですけれども、さ我々としてこの産総研が書いたこの②の断層というのは、後期更新世以降に活動していない断層かもしれないし、
2:41:33	後期更新世以降に活動しているかもしれない断層どちらともわからないけど断層はあると。
2:41:40	いうものを、②としているというふうに理解をしています

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:41:45	そうなので、それに対応する当社の分については、当社の伏在もしくは、活断層と認定したもの、それに対応して
2:41:55	なのでちょっと②のそれ以外というのは、後期更新世以降に活動しているもしくはしていない断層、
2:42:03	として、
2:42:04	②を引いたというふうに理解を我々はしているというものでござい。
2:42:09	以上でござい
2:42:14	だから、三つ目のポツの書き方なのかなあ。
2:42:19	この範囲内仙台の周辺のこの図示されてる範囲では①、明確に後期更新世が活動してる断層といえるものは、
2:42:28	なかった範囲で、すべてがその活動時期よくわからない。
2:42:33	もう古いものかもしれないし古すぎるものかもしれないし、後期更新世以降のコウノかもしれないわからないけれども、
2:42:39	もう菌田断層です。それ以外のもので、
2:42:42	それがまず最低のその②のパターンだけです。
2:42:46	このためにすぐここで、このためで、
2:42:51	採用すると考えられる。
2:42:54	評価の断層伏在断層。
2:42:58	ただ、これ、既許可評価における断層境界の評価における伏在
2:43:05	断層と対応するかというと、これはあくまで後期更新世の、
2:43:11	活動性有無で判断してる。
2:43:14	ものを、
2:43:19	何で0には、
2:43:21	時代わかんない。
2:43:23	で、この強化評価における断層強化効果における伏在断層って、これは、
2:43:29	この図わーどっちだ、どっちのパターンですね、これわー。
2:43:33	後期更新世以降に活動しているものについて、
2:43:38	引いて、
2:43:39	そこってのは対応してきたり対応してるんであれば重なるはずだし、そこをずれるかも。
2:43:45	線としてはね。
2:43:46	だからそこら辺の範囲も何か対応してんでしたっけこれ。
2:43:49	はい。九州電力の徳永です。当社の方の既許可評価の断層、赤っていうのが、後期更新世以降に活動があると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:59	わかっている断層でございますで、伏在断層については後期更新世以降に変位変形をおよぼしてないんですけども、それより前に活動があったものを、伏在断層として線を引いていると。
2:44:11	いうものでございます。なので、それと、その両方足したものと、産総研が、
2:44:18	動いたか動いてないかわからないけど、引いた②というのとそれが対応するというふうに表現をしております。
2:44:27	以上でございます。
2:44:32	私はわからないのかもしれない。これ一般一般的に伏在断層っていうものは、
2:44:36	後期更新世以降、
2:44:38	よりも、
2:44:40	古いものを指すでし
2:44:42	それでいいのかな。
2:44:44	違うんだよね。
2:44:46	わかんないって言うだけでしょうね。
2:45:23	そう。
2:45:25	なんか三つ話を訳しているのかな。
2:45:33	うん。
2:45:35	なんですよ。いや、
2:45:38	産総研。このためっていうと、
2:45:41	なぜこの子のためは何、何かを指しているかっていうと、川内の周辺では、
2:45:46	②のパターンの断層何しかないんです。
2:45:50	従ってっていうと、産総研 2022 の断層②の断層というのは、
2:45:56	評価の赤、
2:45:59	及び黒に対応します。
2:46:01	逆に裏を返すと許可の赤、赤線黒線は、産総研で言うところの①の後期更新世以降に活動してる断層。
2:46:09	という区分には対応しないんです。
2:46:13	ていうと3本とそうでないんですよ。そうなんで、ここがね3三つに一つは何か複雑化させてるんですよ。
2:46:26	うんそう。
2:46:30	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:43	うん。なんかその他で言ってるこの赤線黒線が産総研でいうこの①なのか②ナカヤマ②に対応するんです丸一ではありませんだろう、そういう関係性では、
2:46:53	ないんじゃないかと思っていて、そうするとここで何か対応すると考えられるみたいな。
2:46:59	Dは何かかえてですね、何か認識のずれを産んでしまっていないかというそういうことなんです。やってることが変だと言ったわけじゃなくて、
2:47:10	はい。九州電力の徳永ですちょっと誤解を呼びやすい、わかりにくい表現になっていますので、これお伝えしたかったのは、前回のヒアリングの時にこれってどっ、
2:47:22	どういうふうに比べればいいのかというお話もあったので、
2:47:26	基本的には、我々が見てる断層、この黒赤と青を見比べていただければいいと思いますというのを、言葉に落としているというものでございますでちょっと、
2:47:39	表現がわかりにくかって誤解を生むような表現もありますのでちょっと記載をもう1回見直したいと思います。以上でございます。
2:47:53	はい。一応産総研 2022 で取ってる断層というのは、一応、
2:47:58	そのデータをもとに使ってるデータが全然違う、量が全然違うっていうところを前提を取り除けば、一応御社でいうところのこの、
2:48:08	赤、赤黒と、この青、
2:48:11	青、
2:48:12	これを対比してあげればいいんですよというのには理解した。
2:48:16	その上で、圧倒的な物流の差で、
2:48:20	それは産総研も行ってます。
2:48:23	ということでそういう理由から、
2:48:25	これはもうデータの違いが明確。もうとったデータがこれ 1907。
2:48:30	80 年代等、それ以降に大量にとったデータ。
2:48:34	やってるんでそこにもう決定的な違いがあるんで見直す必要がない。
2:48:38	話かと思えますんで、
2:48:40	うん。
2:48:42	ちょっとそこら辺最後表現は直した方がいいと思いますけどね。
2:48:53	結論はもちろんわかってるつもりになって、はい。
2:48:57	ちょっとあんまりこうぴたりん産総研のパターン②と本社のものが、
2:49:04	いやこれ対応するんです。
2:49:06	一致というか対応するののかという、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:08	ちょっとその対応というところで変なんですね、ずれが出ない。
2:49:14	表現だけなんです。
2:49:16	はい。他数とかよろしいですかねこっちで
2:49:20	仙台の方の調教釜分としてはもう、その地震規模の観点で、一番その一番重要なそこが、
2:49:28	もう清川の方が、
2:49:30	より大きく見積もってますよ。
2:49:32	ことなんで、
2:49:34	それでいいと思う。
2:49:36	そうだ。
2:49:38	あと、
2:49:39	一応これで皆さんに確認だけしときますけど、
2:49:44	被害地震 19 とか 20 の日所D。
2:49:49	非常に 100 キロ位程度以内の被害地震。
2:49:52	一応 11 かな。
2:49:55	これが初版にないものが三つあつ。
2:50:00	たりとかですね。
2:50:02	第 2 班で新しく入ってきたものがあつたりとか、
2:50:05	この 200 キロ程度といって若干 200 を超えてもう割、ある程度の規模があるものは拾う。
2:50:13	てるわけですよこれ。
2:50:15	厳密に 200 で線引きしてるわけじゃなくて、この御社のその 200 キロ程度、
2:50:22	これ前の、
2:50:25	10、
2:50:27	10 幾つだ、1516 とかを見ると、
2:50:31	この初版にないものが結構な数増えてます。
2:50:35	あんまり比嘉の方はそんなに数多くはついてない。
2:50:40	これら一は、
2:50:43	あんまり
2:50:44	いつも位置関係がよくわからないんですけど、
2:50:48	当然この中から敷地の距離が 200 キロ程度。
2:50:53	以内のものを抜き出すと 11 個になりますっていう。
2:50:58	ことだと思んですけど。
2:51:01	微妙に 220 キロでもこう拾ったり、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:04	しているわけなんで、例えば拾ってない中にね、近いその規模の地震で、
2:51:10	いや 200 これ実はもともと拾ってなかったですよね実は距離 220 キロぐらいなんですけど。
2:51:17	実はそのまま広井浩落としてありますとか、
2:51:20	そこら辺抜けがないかどうかちゅうところdはちゃんと確認されてますかねと。
2:51:26	九州電力の野々村です。その点についてですけども、土岐ほかの時の要は被害地震の整理の仕方をちょっと確認しましたところ 200 キロ程度と言いつつ、
2:51:38	250 キロ未満のものをすべて拾うようにしてまして、もうそれを踏襲する形で、A2 版のところにおいても 250 キロ未満、
2:51:48	のものはすべてピックアップしているというのを確認しております。
2:52:00	うん。
2:52:08	と、何か距離は出してる気がしていて、
2:52:11	あとわあ、うん。
2:52:13	引地との距離
2:52:15	でね。
2:52:16	そう。なんかね 19 に行くと、
2:52:18	諸般の時の評価の有無と第 2 版の評価の有無等、
2:52:23	そこでどういうふうな地震規模と震央距離で評価していったのかっていうと、
2:52:28	それがすべからく許可評価の時の 200 キロ以内のもの。
2:52:31	対比されてるんで、これは許可のときにも拾ってた地震だなんてのはわかるんですけど、
2:52:37	10-16 だと、これ何か許可のときに、
2:52:41	拾ってないものが今回第 2 版で新たに加わって、それは今回、
2:52:46	拾わなくていいの、どうなのっていうの確認がね、これできないんで、
2:52:51	本来だったら
2:52:53	ここに許可の時の、もう檀なんか、
2:52:56	評価有無とか、
2:52:58	地震規模とか書き出すともうこの表がぐちゃぐちゃになるのであれば、
2:53:03	せめてね、せめて、
2:53:05	この参考で、
2:53:07	五つの距離みたいなものを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:09	書いておけば、この中から、
2:53:12	当然こういうふうには 200 キロ程度、200 数十キロまで拾って、
2:53:17	残ったのが 19 確かにそうねっていうのがわかるので、
2:53:21	もしその敷地の距離をですね参考で、1056 の右端に、
2:53:27	でも確認されてるんですよねと当然されて残ったやつが 250 キロでスク リングしたやつが、
2:53:33	いう。
2:53:35	有給。
2:53:36	なわけなんで、
2:53:38	5 年個別に右に、敷地との距離を
2:53:41	書いたからといって、19 ページ 20 ページは 1 個増えるとか減るとかそ んなことではないはずなんで、
2:53:47	おっしゃる通り確認はしています。いるんですけれどもちょっと今ちょっ と、どうしようかなというのを悩んだのが、ではあくまで 1056 ページは第 2 版が、第 1 版からどう変わっ
2:54:05	てるかを整理するページになっておりまして当初伴から第 2 班、当然仙 台から、
2:54:15	当記録も含んでるんですけれども、第 2 班と初版に含まれている地震 をすべて比較すると、これだけ違いがあります。
2:54:25	その上で 19 ページには、そのうち、初版、第 2 版含めて 200 記録、250 キロ未満のものをピックアップすると、これだけ
2:54:35	でというような説明をちょっとしたかったというのがありまして、今よう な整理にしております。で、15 ページ 16 ページに信号距離を入れるの は、
2:54:49	もちろん確認をしておりますしできるんですけれども、ちょっと初版から の変更点の整理とすると、入れるのは可能ではあるかなと思いますけ れども、
2:55:06	言ってもいれればいいけど多分ダイレクトに数字書いた方が楽かもしれな い。なんで、ただ懸念されてるのは、15 とか 16 のこの一連の表ですよ ね。
2:55:18	一連の表の中に何か入れてしまうと、別にそれは長期評価書版から初 版と第 2 版で、別に帳票下で川内との距離な
2:55:28	気にして作ったわけじゃないので、
2:55:30	なんで、
2:55:33	でも 10562。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:36	参考なのか本当に、
2:55:39	何ですかね、右にセルを1個追加すると一連の表みたいに見えて嫌なんであれば、ちょっとスペース空けて、縦長にぽっとアノ、左にちょっとずらし寄せで、
2:55:51	今の図を少し左に寄せて右側にスペースをとって、
2:55:56	同じ表をつなげるんじゃなくて、ちょっとこう、数mmぐらい間開けて、参考と。
2:56:03	いつも参考としている趣旨が、一応資料で、
2:56:07	選んでるんで、
2:56:09	やりますと、
2:56:13	うん。
2:56:16	ならない。
2:56:18	そう思うね。
2:56:22	そう。
2:56:24	選んだものと何か同じようなこの発生領域から発生領域の中で、
2:56:30	ほぼほぼマグニチュードがちょっと違う、0.コンマ幾つ違うぐらい、コンマ1ほんまに違うぐらいで、
2:56:37	それが実は敷地にも、さっき言った250で切ってるっちゅうんだったら多分大丈夫だと。
2:56:43	200キロ。
2:56:45	程度とかっていって、
2:56:47	もうちょっと敷地に近くてね、実はそっちの方はちょっと震度5弱超えないかとかっていう、
2:56:52	そういう当然、そこはしっかりチェックされてるとは思ってるんですけど。
2:56:57	そのための文なんで、
2:57:02	九州電力と野々村です。15ページ6ページに参考として、仙台の距離を記載するようにいたします。はい。
2:57:11	はい。
2:57:12	大丈夫ですかね。
2:57:20	19、
2:57:21	そうですねここに残ってるものにしかるべきものが残ってるんですよ、仕掛けが残ってるんですけど。
2:57:29	そういうこと。
2:57:33	それね。
2:57:35	これ根井、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:38	これに今、今の趣旨だから、1056 のこのすべてのものをプロットしたものを、
2:57:45	19、
2:57:47	ないんじゃない。
2:57:48	あるのかな。はい。何か。
2:57:53	ある。
2:57:54	ないですね、多分新規に作るんだったらね多分止め、
2:57:57	大変だからやめた方がいいと思いますよ。
2:58:00	すでに 1056 のものを、だから地図に載せたものがあるんで、そこに川内 20 ポチっていうふうに、
2:58:07	補修費をつけるだけで、
2:58:09	つけて、
2:58:10	選んだやつはほら、敷地に近い側からのものを選んでいて、
2:58:14	選んだものより敷地に近いものないですよってというのがパッと、
2:58:18	わかる地図が基本あるのであればいいんですけど、
2:58:22	新たに作るっていうのであればそこなんで、
2:58:24	それ必要ないと思うんすよ。うん。
2:58:37	はい。
2:58:42	はい。そんなところですかね。
2:58:51	さてと。あとは、
2:58:53	一応本件は、地盤斜面、
2:58:57	今日、
2:58:58	夕方かな、別枠でヒアリングが取ってますけど、
2:59:02	その地盤斜面と合わせて会合でご説明いただく。
2:59:07	ということで考えているので、ちょっとそちらについては資料の修正の上、
2:59:13	あとは、甲斐もよ
2:59:17	になるとは思いますけど、ちょっとそこはまた、
2:59:19	府ヒアリングの地盤斜面の方のヒアリングを踏まえて、
2:59:23	いつも、
2:59:24	開催のロジとか、それはまたご連絡しますけどね。はい。
2:59:29	じゃあよろしければ、ちょっと 1 時間強も延びてしまいましたけど、はい。
2:59:34	以上でヒアリングを終了したいと思います。
2:59:36	よろしいですかね。はい。
2:59:38	お疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。